



令和8年度 社会資本整備総合交付金事業 平木地区処理場統合整備工事（1）

金抜設計書

工事番号 2026099800

工事名 令和8年度 社会資本整備総合交付金事業 平木地区処理場統合整備工事（1）

施工場所 加東市平木地内

兵庫県 加東市

[illegible]

総括情報表

単価適用年月日	00-08.09.01(0)		
	今 回		前 回
工種区分（公共） 施工地域区分 契約保証費用 週休2日補正	15 下水道（2） 35 一般交通影響有り（2）－2 01 計上する 04 週休2日補正なし		

工事費内訳書

頁0-0002/0073

費目・工種・種別・細目		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費											
管路											
管きょ工 (管径 VU150mm)											
管路土工											
管路掘削											
床掘り 土砂 上記以外(小規模) 土留なし										施工	第0 -0001号内訳表
		330		m3							
機械掘削工 ; バックホ 土留あり										施工	第0 -0002号内訳表
		780		m3							
管路埋戻											
埋戻し (土留なし) 再生切込碎石										施工	第0 -0004号内訳表
		170		m3							

工事費内訳書

頁0-0003/0073

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
；機械投入；埋戻工 再生切込碎石 土留あり	550	m3				施工 第0 -0006号内訳表
発生土処理						
発生土 ダンプトラック運搬・処分 4tダンプ・土砂	1,120	m3				施工 第0 -0008号内訳表
管布設工						
硬質塩化ビニル管						
硬質塩化ビニル管設置工 VU φ 150 呼び径 150mm	741	m				施工 第0 -0012号内訳表
管基礎工						
砂基礎						
砂基礎工；[機械投入] スクリーニングス	230	m3				施工 第0 -0013号内訳表

工事費内訳書

頁0-0004/0073

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
管路土留工						
軽量鋼矢板土留						
軽量鋼矢板建込引抜工（両側分） 矢板長 h=2.0m	235	m				施工 第0 -0015号内訳表
軽量鋼矢板建込引抜工（両側分） 矢板長 h=2.5m	93	m				施工 第0 -0016号内訳表
軽量鋼矢板建込引抜工（両側分） 矢板長 h=3.0m	77	m				施工 第0 -0017号内訳表
土留支保工（設置＋撤去） 1 段設置撤去 切梁種別 水圧式パイプサポート	235	m				施工 第0 -0018号内訳表
土留支保工（設置＋撤去） 2 段設置撤去 切梁種別 水圧式パイプサポート	170	m				施工 第0 -0019号内訳表
軽量鋼矢板賃料・整備費	1	式				
土留支保工賃料・整備費 腹起し材、水圧サポート、手動ポンプ	1	式				

工事費内訳書

頁0-0005/0073

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
マンホール工						
組立マンホール工						
組立1号マンホール						
組立マンホール設置工 1号 マンホール深さ3m以下	18		箇所			施工 第0 -0020号内訳表
組立マンホール設置工 1号 マンホール深さ3m超え4m以下	1		箇所			施工 第0 -0021号内訳表
マンホール蓋 加東市型 φ600 新次世代型 T25梯子付 Sコート	19		組			
ボルト緊結セット φ600・φ900-φ600用 M16×150	13		組			
ボルト緊結セット φ600・φ900-φ600用 M16×250	6		組			
無収縮モルタル 25kg入	14		袋			

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
調整リンク 組立式(V型) 600×50mm						
	2		個			
調整リンク 組立式(V型) 600×80mm						
	1		個			
調整リンク 組立式(V型) 600×100mm						
	13		個			
調整リンク 組立式(V型) 600×150mm						
	3		個			
1号斜壁 組立式(V型) 600×900×300mm						
	1		個			
1号斜壁 組立式(V型) 600×900×450mm						
	16		個			
1号斜壁 組立式(V型) 600×900×600mm						
	2		個			
1号直壁 組立式(V型) 900×900mm						
	3		個			
1号底付 900×700mm						
	10		個			

工事費内訳書

頁0-0007/0073

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
1号底付 900×1000mm						
	1		個			
1号底付 900×1300mm						
	5		個			
1号底付 900×1600mm						
	2		個			
1号底付 900×1900mm						
	1		個			
マンホール用可とう継手 拡張バンドタイプ 塩ビ管 φ 150						
	39		個			
削孔代 0号,1号 組立式(V型) φ 150mm用						
	20		箇所			
底部工 [組立式]						
	18		箇所			施工 第0 -0022号内訳表
底部工 [組立式]						
	1		箇所			施工 第0 -0026号内訳表
内副管						

工事費内訳書

頁0-0008/0073

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
内副管取付工 段差1.0m未満 呼び径100mm以上300mm以下 下水道用設計標準歩掛表-19-1	1		箇所			施工 第0 -0027号内訳表
内副管取付工 段差1.0m以上1.5m未満 呼び径100mm以上300mm以下 下水道用設計標準歩掛表-19-1	1		箇所			施工 第0 -0028号内訳表
内副管取付工 段差1.5m以上2.0m未満 呼び径100mm以上300mm以下 下水道用設計標準歩掛表-19-1	2		箇所			施工 第0 -0029号内訳表
貼付型内副管継手 VY150-100	4		個			
下水道用硬質塩化ビニル管継手 90° 曲管 (90° ST) φ 100	4		個			
下水道用硬質塩化ビニル管 接着受け口片受直管 φ 100	4.3		m			
内副管用固定バンド SUS製	8		組			
人孔連絡工						
人孔連絡工						

工事費内訳書

頁0-0009/0073

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート削孔 (コンクリート穿孔機) 削孔径→180mm以上200mm以下 削孔深さ→50mm以上200mm未満	1		箇所			施工 第0 -0030号内訳表
マンホール用可とう継手 貼り付けタイプ 塩ビ管 φ150 流末	1		個			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 ；人力打設	0.001		m3			施工 第0 -0031号内訳表
付帯工						
舗装版破碎工						
舗装版切断						
舗装版切断 (アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	1,510		m			施工 第0 -0032号内訳表
カッター汚泥運搬・処分	1		式			施工 第0 -0033号内訳表
舗装版破碎						

工事費内訳書

頁0-0010/0073

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版破碎(アスファルト舗装版)						
；障害->無し；撤去厚->15cm以下	700		m2			施工 第0 -0036号内訳表
殻運搬						
アス殻運搬・処分	70		m3			施工 第0 -0037号内訳表
アスファルト舗装復旧工						
下層路盤(車道・路肩部)						
下層路盤(車道・路肩部)県道 粒調碎石 M-25, M-30, M-40 t = 1 0 0 mm	708		m2			施工 第0 -0040号内訳表
上層路盤(車道・路肩部)						
上層路盤(車道・路肩部)県道 瀝青安定処理材(再生材) TOP25 t = 1 0 0 mm	708		m2			施工 第0 -0041号内訳表
基層(車道・路肩部)						

工事費内訳書

頁0-0011/0073

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
基層(車道・路肩部)県道 t = 5 0 mm 粗粒度アスコン[再] (20) ; (2. 35)	708		m2						施工	第0 -0042号内訳表
表層(車道・路肩部)										
表層(車道・路肩部)県道 t = 5 0 mm 密粒度アスコン[再] (13) ; (2. 35)	708		m2						施工	第0 -0043号内訳表
取付管およびます工										
管路土工										
管路掘削										
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	6		m3						施工	第0 -0044号内訳表
管路埋戻										
埋戻し(土留なし) 再生切込砕石	3		m3						施工	第0 -0004号内訳表

工事費内訳書

頁0-0012/0073

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
砂基礎工；[機械投入] スクリーニングス						
	1		m3			施工 第0 -0013号内訳表
発生土処理						
発生土 ダンプトラック運搬・処分 4tダンプ・土砂						
	6		m3			施工 第0 -0008号内訳表
殻運搬						
アス殻運搬・処分						
	0.4		m3			施工 第0 -0037号内訳表
舗装版切断						
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚->15cm以下						
	12		m			施工 第0 -0032号内訳表
舗装版破碎						
舗装版破碎(アスファルト舗装版) ；障害->無し；撤去厚->15cm以下						
	4		m2			施工 第0 -0036号内訳表

工事費内訳書

頁0-0013/0073

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
下層路盤(車道・路肩部)						
下層路盤(車道・路肩部) 県道 粒調碎石 M-25, M-30, M-40 t = 1 0 0 mm	4		m2			施工 第0 -0040号内訳表
上層路盤(車道・路肩部)						
上層路盤(車道・路肩部) 県道 瀝青安定処理材(再生材) TOP25 t = 1 0 0 mm	4		m2			施工 第0 -0041号内訳表
基層(車道・路肩部)						
基層(車道・路肩部) 県道 t = 5 0 mm 粗粒度アスコン[再] (20) ; (2.35)	4		m2			施工 第0 -0042号内訳表
表層(車道・路肩部)						
表層(車道・路肩部) 県道 t = 5 0 mm 密粒度アスコン[再] (13) ; (2.35)	4		m2			施工 第0 -0043号内訳表
ます設置工						

工事費内訳書

頁0-0014/0073

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
ます設置工						
ます設置工 ます径 200mm, 設置あり	1		箇所			施工 第0 -0045号内訳表
取付管布設工						
取付管(塩ビ管)						
取付管布設および支管取付工 管径 100mm, コンクリート製・陶製以外の管	1		箇所			施工 第0 -0046号内訳表
仮設工						
交通管理工						
交通誘導警備員						
交通誘導警備員 A	52		人日			施工 第0 -0047号内訳表

工事費内訳書

頁0-0015/0073

費目・工種・種別・細目		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
直接工事費計	交通誘導警備員 B									施工 第0 -0048号内訳表	
		104		人	日						
共通仮設費計											
運搬費											
仮設材運搬費					式						
					式						
	仮設材等の運搬（往路） 製品長→12m以内 ；運搬距離 1 4． 1 km									施工 第0 -0049号内訳表	
		8.2		t							
	仮設材等の運搬（復路） 製品長→12m以内 ；運搬距離 1 4． 1 km									施工 第0 -0050号内訳表	
		8.2		t							
	仮設材等の積込み・取卸し 〔積込み取卸し（往復分）〕									施工 第0 -0051号内訳表	
		8.2		t							
共通仮設費率分											
					式						

工事費内訳書

頁0-0016/0073

費目・工種・種別・細目		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
純工事費計											
現場管理費											
					式						
工事原価計											
一般管理費等											
					式						
工事価格計											
消費税相当額											
					式						
総 計											

床掘り

〔規格 2〕 土留なし

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0017/0073

1	m3	当り
---	----	----

[illegible]

施工 第0 -0002号内訳表

頁0-0018/0073

[規格 1]

〔規格 2〕土留あり

[摘要]

m3

当り

[illegible]

施工 第0 -0004号内訳表

頁0-0019/0073

[規格 1] 再生切込碎石

[規格 2]

[摘要]

m3

当り

[illegible]

積算単価算出表

埋戻し

[規格 1] 上記以外(小規模) 土砂

[規格 2]

[摘要]

施工 第0 -0005号内訳表

頁0-0020/0073

1 m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排ガス(第2次)]			バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・排ガス対策型(第2次)] 0.28/0.2m3			
K2	タンパ° 及びドラム 質量60～80kg			タンパ° 及びドラム [ランマ] 60～80kg			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	軽油 パトロール給油			軽油 パトロール給油			
Z2	ガソリン レギュラー スタンド°			レギュラーガソリン スタンド			
Z							
				計			
積算単価 =							

埋戻し

〔規格 1〕 上記以外(小規模) 土砂

[規格 2]

[摘要]

施工 第0 -0005号内訳表

頁0-0021/0073

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

施工 第0 -0006号内訳表

頁0-0022/0073

埋戻工

[規格1] 再生切込碎石

[規格2] 土留あり

[摘要]

100

m3

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
再生切込碎石 (0～30mm・0～40mm)		m3			
バックホ運転		時間			
タンパ締固め	100.00	m3			施工 第0-0007号内訳表
合 計	100	m3			
単 位 当 り	1	m3			
A 埋戻し材の種類 B 土留の種別 C バックホ規格		=6 =1 =3	再生切込碎石 たて込み簡易・軽量鋼矢板・アルミ矢板 バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

タンパ締固め
[規格 1]

頁0-0023/0073

1	m3	当り
---	----	----

[illegible]

施工 第0-0008号内訳表

頁0-0024/0073

〔規格 1〕4tダンプ・土砂

[規格 2]

[摘要]

m3

当り

[illegible]

施工 第0 -0009号内訳表

頁0-0025/0073

〔規格 1〕土砂

〔規格 2〕

〔摘要〕

10

m3

当り

[illegible]

施工 第0-0011号内訳表

頁0-0026/0073

[規格 1] 土 砂

〔規格 2〕

[摘要]

m3

当り

[illegible]

施工 第0 -0012号内訳表

頁0-0027/0073

〔規格 1〕呼び径 150mm

〔規格 2〕

[摘要]

1	m	当り
---	---	----

[illegible]

頁0-0028/0073

当り

[illegible]

施工 第0 -0014号内訳表

頁0-0029/0073

〔規格 1〕

[規格 2]

[摘要]

m3

当り

[illegible]

施工単価表

施工 第0 -0015号内訳表

頁0-0030/0073

軽量鋼矢板建込引抜工（両側分）

[規格1] 矢板長 h=2.0m

[規格2]

[摘要]

100 m 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホ運転		時間			
トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊 オペレータ付き		日			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			
A 作業種別		=3	建込+引抜		
B 掘削深		=2	掘削深 2.0m以下		
C バックホ規格		=3	バックホ 山積0.28m3 (平積0.2m3)		

施工単価表

施工 第0 -0016号内訳表

頁0-0031/0073

軽量鋼矢板建込引抜工（両側分）

[規格1] 矢板長 h=2.5m

[規格2]

[摘要]

100

m

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホ運転		時間			
トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊 オペレータ付き		日			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			
A 作業種別		=3	建込+引抜		
B 掘削深		=3	掘削深 2.5m以下		
C バックホ規格		=3	バックホ 山積0.28m3 (平積0.2m3)		

施工単価表

施工 第0 -0017号内訳表

頁0-0032/0073

軽量鋼矢板建込引抜工（両側分）

[規格1] 矢板長 h=3.0m

[規格2]

[摘要]

100

m

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホ運転		時間			
トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊 オペレータ付き		日			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			
A 作業種別		=3	建込+引抜		
B 掘削深		=4	掘削深 3.0m以下		
C バックホ規格		=3	バックホ 山積0.28m3 (平積0.2m3)		

施工 第0 -0018号内訳表

頁0-0033/0073

〔規格 1〕 1 段設置撤去

〔規格 2〕切梁種別 水圧式ハブポート

[摘要]

100	m	当り
-----	---	----

[illegible]

施工 第0 -0019号内訳表

頁0-0034/0073

〔規格 1〕 2 段設置撤去

〔規格 2〕切梁種別 水圧式パイプサポート

[摘要]

100 m 当り

[illegible]

施工 第0 -0020号内訳表

頁0-0035/0073

〔規格 1〕1号 マンホール深さ3m以下

〔規格 2〕

[摘要]

箇所 当り

[illegible]

施工 第0 -0021号内訳表

頁0-0036/0073

〔規格1〕1号 マンホール深さ3m超え4m以下

〔規格 2〕

[摘要]

箇所 当り

[illegible]

施工 第0 -0022号内訳表

頁0-0037/0073

〔規格 1〕

〔規格 2〕

[摘要]

箇所 当り

[illegible]

コンクリート

[規格 2]

[摘要]

頁0-0038/0073

m3	当り
----	----

標準単価	代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-8-40BB 水セメント比60%以下			
Z							
				計			
積算単価	=						
A	構造物種別	=1	無筋・鉄筋構造物				
B	打設工法	=4	人力打設				
C	コンクリート規格	=9	18-8-40BB[水セメント比 60%以下]				
E	養生工の種類	=2	一般養生				
G	現場内小運搬の有無	=2	無し				

施工 第0 -0024号内訳表

頁0-0039/0073

〔規格 1〕厚 20mm

[規格 2]

[摘要]

当り

[illegible]

モルタル練

[規格 2]

[摘要]

頁0-0040/0073

[illegible]

施工 第0 -0026号内訳表

頁0-0041/0073

〔規格 1〕

〔規格 2〕

[摘要]

箇所 当り

[illegible]

施工 第0 -0027号内訳表

頁0-0042/0073

[規格 1] 段差1.0m未満

〔規格2〕呼び径100mm以上300mm以下

〔摘要〕下水道用設計標準步掛表-19-1

箇所 当り

[illegible]

施工 第0 -0028号内訳表

頁0-0043/0073

〔規格1〕段差1.0m以上1.5m未満

〔規格2〕呼び径100mm以上300mm以下

〔摘要〕下水道用設計標準步掛表-19-1

箇所 当り

[illegible]

施工 第0 -0029号内訳表

頁0-0044/0073

〔規格1〕段差1.5m以上2.0m未満

〔規格 2〕呼び径100mm以上300mm以下

〔摘要〕下水道用設計標準步掛表-19-1

箇所 当り

[illegible]

コンクリート削孔 (コンクリート穿孔機)

〔規格 2〕 削孔深さ→50mm以上200mm未満

[摘要]

頁0-0045/0073

箇所 当り

標準単価		代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		コンクリート穿孔機 φ25cm [電動式コアホーリングマシン]			コンクリート穿孔機 [電動式コアホーリングマシン] [簡易仕様型] φ25cm			
K2		発動発電機 3kVA [ガソリンエンジン駆動]			発動発電機 ガソリンエンジン駆動 3kVA			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		ダイヤモンドビット φ204mm			ダイヤモンドビット 径204.0mm(スタンダード)			
Z2		ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン スタンド			
Z								
					計			
積算単価	=							

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)

〔規格 2〕 削孔深さ→50mm以上200mm未満

[摘要]

頁0-0046/0073

箇所 当り

[illegible]

コンクリート

[規格 2]

[摘要]

頁0-0047/0073

1	m3	当り
---	----	----

[illegible]

積算単価算出表

舗装版切断(アスファルト舗装版)

[規格1] As舗装版厚>15cm以下

[規格2]

[摘要]

施工 第0 -0032号内訳表

頁0-0048/0073

1 m 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		コンクリートカッタ 切削深20cm級 [バキューム式(超低騒音型)・湿式]			コンクリートカッタ [バキューム式(超低騒音型)・湿式] 20cm級			
	K								
	R1		特殊作業員			特殊作業員			
	R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
	R3		普通作業員			普通作業員			
	R								
	Z1		コンクリートカッタ(フレート) 径18インチ			舗装版切断 カッターフレート 径18インチ			
	Z2		ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン スタンド			
	Z								
						計			
	積算単価 =								
	A	舗装版種別	=1		アスファルト舗装版				
	B	アスファルト舗装版厚	=1		15cm以下				

施工 第0 -0033号内訳表

頁0-0049/0073

〔規格 1〕

〔規格 2〕

[摘要]

式

当り

[illegible]

頁0-0050/0073

当り

[illegible]

積算単価算出表

舗装版破碎(アスファルト舗装版)

[規格1]

[規格2] 撤去厚→15cm以下

[摘要]

施工 第0-0036号内訳表

頁0-0051/0073

1 m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		バックホウ 山積0.45m3(平積0.35) [クローラ型後方超小旋回型] 超低騒音型・排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧クローラ後方超小旋回 山積0.45m3級			
K								
R1		土木一般世話役			土木一般世話役			
R2		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R3		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		軽油 パトロール給油			軽油 パトロール給油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	舗装版種別	=1		アスファルト舗装版				
B	障害等の有無	=1		無し				
C	騒音振動対策	=1		不要				
D	舗装版厚	=1		15cm以下				
F	積込作業の有無	=1		有り				

施工 第0 -0037号内訳表

頁0-0052/0073

〔規格 1〕

[規格 2]

[摘要]

m3

当り

[illegible]

殼運搬

[規格 2]

施工 第0 -0038号内訳表

頁0-0053/0073

1	m3	当り
---	----	----

[illegible]

施工 第0 -0039号内訳表

頁0-0054/0073

〔規格 1〕アスファルト殻

[規格 2]

[摘要]

m3

当り

[illegible]

積算単価算出表

下層路盤(車道・路肩部) 県道

[規格1] 粒調碎石 M-25, M-30, M-40

[規格2] t = 100mm

[摘要]

施工 第0 -0040号内訳表

頁0-0055/0073

1 m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	モータグレーダ 幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(2014年)]			モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型(2014年規制)] 3.1m			
K2	ロードローラ 質量10～12t [マカダム] 排出ガス対策型含			ロードローラ(排出ガス対策型含) マカダム 10～12t			
K3	タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含) 13～14t			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	特殊作業員			特殊作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生粒度調整碎石 RM-40 全厚t=150mm			粒調碎石 (0～25mm・0～30mm・0～40mm)			
Z2	軽油 パトロール給油			軽油 パトロール給油			
Z							

下層路盤(車道・路肩部) 県道

[規格 2] $t = 100 \text{ mm}$

[摘要]

頁0-0056/0073

1	m2	当り
---	----	----

[illegible]

積算単価算出表

上層路盤(車道・路肩部) 県道

[規格1] 瀝青安定処理材(再生材) TOP25

[規格2] t = 100mm

[摘要]

施工 第0 -0041号内訳表

頁0-0057/0073

1 m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	振動ローラ(舗装用) 質量0.5～0.6t [ハンドガイド式]			振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 0.5～0.6t			
K2	振動コンパクタ 質量40～60kg [前進型]			振動コンパクタ [前進型] 40～60kg			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	アスファルト混合物(安定処理材) AS安定処理(40) t=80mm			瀝青安定処理(再生材)			
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 フライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3(フライムコート用)			
Z3	ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン スタンド			
Z4	軽油 パトロール給油			軽油 パトロール給油			
Z							

上層路盤(車道・路肩部) 県道

[規格 2] $t = 100 \text{ mm}$

[摘要]

頁0-0058/0073

1	m2	当り
---	----	----

[illegible]

積算単価算出表

基層(車道・路肩部) 県道

[規格1] t = 50mm

[規格2] 粗粒度アスコン[再] (20)

[摘要]

施工 第0 -0042号内訳表

頁0-0059/0073

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		振動ロー(舗装用) 質量0.5～0.6t [ハンドガイド式]			振動ロー(舗装用) [ハンドガイド式] 0.5～0.6t			
	K2		振動コンパクタ 質量40～60kg [前進型]			振動コンパクタ [前進型] 40～60kg			
	K								
	R1		特殊作業員			特殊作業員			
	R2		普通作業員			普通作業員			
	R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
	R								
	Z1		再生粗粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生粗粒度アスコン TOP20			
	Z2		アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用			アスファルト乳剤 PK-4 (タックコート用)			
	Z3		ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン スタンド			
	Z4		軽油 パトロール給油			軽油 パトロール給油			
	Z								

基層(車道・路肩部) 県道

〔規格 2〕粗粒度アスコン〔再〕(20)

施工 第0 -0042号内訳表

1	m2	当り
---	----	----

[illegible]

積算単価算出表

表層(車道・路肩部)県道

[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

[摘要]

施工 第0 -0043号内訳表

頁0-0061/0073

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		振動ローラ(舗装用) 質量0.5～0.6t [ハンドガイド式]			振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 0.5～0.6t			
	K2		振動コンパクタ 質量40～60kg [前進型]			振動コンパクタ [前進型] 40～60kg			
	K								
	R1		特殊作業員			特殊作業員			
	R2		普通作業員			普通作業員			
	R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
	R								
	Z1		再生粗粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生密粒度アスコン TOP13			
	Z2		アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用			アスファルト乳剤 PK-4 (タックコート用)			
	Z3		ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン スタンド			
	Z4		軽油 パトロール給油			軽油 パトロール給油			
	Z								

表層(車道・路肩部)県道

〔規格 2〕 密粒度アスコン〔再〕 (13)

施工 第0 -0043号内訳表

頁0-0062/0073

m2	当り
----	----

[illegible]

床掘り

[規格 2]

[摘要]

頁0-0063/0073

1	m3	当り
---	----	----

[illegible]

施工 第0 -0045号内訳表

頁0-0064/0073

〔規格1〕ます径 200mm, 設置あり

〔規格 2〕

[摘要]

箇所 当り

[illegible]

施工 第0 -0046号内訳表

頁0-0065/0073

〔規格1〕管径 100mm, コンクリート製・陶製以外の管

〔規格 2〕

[摘要]

箇所 当り

[illegible]

施工 第0 -0047号内訳表

頁0-0066/0073

〔規格 1〕

[規格 2]

[摘要]

人目 当り

[illegible]

施工 第0 -0048号内訳表

頁0-0067/0073

〔規格 1〕

[規格 2]

[摘要]

人目 当り

[illegible]

施工 第0 -0049号内訳表

頁0-0068/0073

〔規格1〕製品長→12m以内

〔規格 2〕

[摘要]

1	t	当り
---	---	----

[illegible]

施工 第0 -0050号内訳表

頁0-0069/0073

〔規格1〕製品長→12m以内

[規格 2]

[摘要]

1	t	当り
---	---	----

[illegible]

施工 第0 -0051号内訳表

頁0-0070/0073

〔規格 1〕〔積み取り卸し(往復分)〕

〔規格 2〕

[摘要]

1	t	当り
---	---	----

[illegible]

登録単価一覧表

頁0-0071/0073

コード	名称・規格 1・規格 2	単 位	単 価 (0. 4. 8)	単 価 (1. 5. 9)	単 価 (2. 6)	単 価 (3. 7)	特殊 集計	集計 区分
F0007	下水道用硬質塩化ビニル管 接着受け口片受直管 φ100	m						
F0008	下水道用硬質塩化ビニル管継手 90° 曲管 (90° ST) φ100	個						
F0009	マンホール用可とう継手 貼り付けタイプ 塩ビ管 φ150 流末	個						
F0010	マンホール用可とう継手 拡張バンドタイプ 塩ビ管 φ150	個						
F0011	無収縮モルタル 25kg入	袋						
F1101	マンホール蓋 加東市型 φ600 新次世代型 T25梯子付 Sコート	組						
F1103	ボルト緊結セット φ600・φ900-φ600用 M16×150	組						
F1104	ボルト緊結セット φ600・φ900-φ600用 M16×250	組						
F1105	貼付型内副管継手 VY150-100	個						
F1106	内副管用固定バンド SUS製	組						
F2010	軽量鋼矢板賃料・整備費	式						
F2011	土留支保工賃料・整備費 腹起し材、水圧サポート、手動ポンプ	式						

機 労 材 集 計 表

頁0-0072/0073

項番	集計 区分	単価コード	単 価 名 称	数量累計	単 位	単 価 値	金 額	
			積込み・取卸し費					
			バックホウ(クローラ型)					
			バックホウ(クローラ型)					
			タンクトラック					
			トラック					
			モータグレーダ					
			振動ローラ(舗装用)					
			タンバ及びリマ					
			振動コンパクタ					
			コンクリートカッター					
			コンクリート穿孔機					
			特殊作業員					
			普通作業員					
			運転手(特殊)					
			運転手(一般)					
			土木一般世話役					
			左官					
			交通誘導警備員A					
			交通誘導警備員B					
			砂					県産品有
			粒調碎石					県産品有
			スクリーニングス					県産品有
			再生切込碎石					県産品有
			生コンクリート					県産品有
			生コンクリート					県産品有
			瀝青安定処理(再生材)					県産品有
			再生粗粒度アスコン					県産品有
			再生密粒度アスコン					県産品有
			調整リング組立式(V型)					県産品有
			調整リング組立式(V型)					県産品有
			調整リング組立式(V型)					県産品有
			調整リング組立式(V型)					県産品有
			1号斜壁組立式(V型)					県産品有
			1号斜壁組立式(V型)					県産品有
			1号斜壁組立式(V型)					県産品有
			1号直壁組立式(V型)					県産品有

機 勞 材 集 計 表

頁0-0073/0073

項番	集計区分	単価コード	単 価 名 称	数量累計	単 位	単 価 値	金 額	
			1号底付					県産品有
			1号底付					県産品有
			1号底付					県産品有
			1号底付					県産品有
			1号底付					県産品有
			削孔代 0号,1号 組立式(V型)					
			高炉セメント(B種)					県産品有
			レギュラーガソリン					
			軽油					
			ダイヤモンドビット					
			アスファルト乳剤					
			アスファルト乳剤					
			舗装版切断 カッタープレート					
			受入価格					
			受入価格					
			受入価格					
			損耗費 (タイヤ)					
			トラッククレーン					
			発動発電機					
			ロードローラー(排出ガス対策型含)					
			タイヤローラー(排出ガス対策型含)					
			タンク(ランマ)					
			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含)					
			ダンプトラック					
			ます設置工(塩化ビニル製)					
			鋳鉄製防護蓋設置費(加算額)					
			取付管敷設工及び支管取付工					
			可とう性支管設置費(加算額)					
			組立マンホール設置					
			組立マンホール設置					
			硬質塩化ビニル管設置工					
			砂基礎設置					

契約数量表

頁0-0001/0007

費目・工種明細など		規格 1 ・ 規格 2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
本工事費						
管路						
管きょ工		(管径 VU150mm)				
管路土工						
管路掘削						
床掘り		土砂 上記以外(小規模)	m3		330	
機械掘削工			m3		780	
管路埋戻						
埋戻し (土留なし)		再生切込砕石	m3		170	
埋戻工		再生切込砕石	m3		550	
発生土処理						
発生土	ダンプトラック運搬・処分	4tダンプ・土砂	m3		1,120	
管布設工						
硬質塩化ビニル管						
硬質塩化ビニル管設置工 VU φ 150		呼び径 150mm	m		741	
管基礎工						
砂基礎						
砂基礎工		スクリーニングス	m3		230	

契約数量表

頁0-0002/0007

費目・工種明細など	規格 1・規格 2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
管路土留工					
軽量鋼矢板土留					
軽量鋼矢板建込引抜工 (両側分)	矢板長 h=2.0m	m		235	
軽量鋼矢板建込引抜工 (両側分)	矢板長 h=2.5m	m		93	
軽量鋼矢板建込引抜工 (両側分)	矢板長 h=3.0m	m		77	
土留支保工 (設置+撤去)	1 段設置撤去	m		235	
土留支保工 (設置+撤去)	2 段設置撤去	m		170	
軽量鋼矢板賃料・整備費		式		1	
土留支保工賃料・整備費	腹起し材、水圧サポート、手動ポンプ	式		1	
マンホール工					
組立マンホール工					
組立1号マンホール					
組立マンホール設置工	1号 マンホール深さ3m以下	箇所		18	
組立マンホール設置工	1号 マンホール深さ3m超え4m以下	箇所		1	
マンホール蓋 加東市型 φ600	新次世代型 T25梯子付 Sコート	組		19	
ボルト緊結セット φ600・φ900-φ600用	M16×150	組		13	
ボルト緊結セット φ600・φ900-φ600用	M16×250	組		6	
無収縮モルタル	25kg入	袋		14	

契約数量表

費目・工種明細など	規格 1 ・ 規格 2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
調整リブ 組立式(V型)	600×50mm	個		2	
調整リブ 組立式(V型)	600×80mm	個		1	
調整リブ 組立式(V型)	600×100mm	個		13	
調整リブ 組立式(V型)	600×150mm	個		3	
1号斜壁 組立式(V型)	600×900×300mm	個		1	
1号斜壁 組立式(V型)	600×900×450mm	個		16	
1号斜壁 組立式(V型)	600×900×600mm	個		2	
1号直壁 組立式(V型)	900×900mm	個		3	
1号底付	900×700mm	個		10	
1号底付	900×1000mm	個		1	
1号底付	900×1300mm	個		5	
1号底付	900×1600mm	個		2	
1号底付	900×1900mm	個		1	
マンホール用可とう継手 拡張バンドタイプ	塩ビ管 φ 150	個		39	
削孔代 0号, 1号 組立式(V型)	φ 150mm用	箇所		20	
底部工 [組立式]		箇所		18	
底部工 [組立式]		箇所		1	
内副管					

契約数量表

頁0-0004/0007

費目・工種明細など	規格 1・規格 2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
内副管取付工	段差1.0m未満	箇所		1	
内副管取付工	段差1.0m以上1.5m未満	箇所		1	
内副管取付工	段差1.5m以上2.0m未満	箇所		2	
貼付型内副管継手	VY150-100	個		4	
下水道用硬質塩化ビニル管継手	90° 曲管 (90° ST) φ 100	個		4	
下水道用硬質塩化ビニル管	接着受け口片受直管 φ 100	m		4.3	
内副管用固定バンド	SUS製	組		8	
人孔連絡工					
人孔連絡工					
コンクリート削孔 (コンクリート穿孔機)	削孔径->180mm以上200mm以下	箇所		1	
マンホール用可とう継手 貼り付けタイプ	塩ビ管 φ 150 流末	個		1	
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	m3		0.001	
付帯工					
舗装版破碎工					
舗装版切断					
舗装版切断 (アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		1,510	
カッター汚泥運搬・処分		式		1	
舗装版破碎					

契約数量表

頁0-0005/0007

費目・工種明細など	規格 1・規格 2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
舗装版破碎(アスファルト舗装版)		m2		700	
殻運搬					
アス殻運搬・処分		m3		70	
アスファルト舗装復旧工					
下層路盤(車道・路肩部)					
下層路盤(車道・路肩部) 県道	粒調碎石 M-25, M-30, M-40	m2		708	
上層路盤(車道・路肩部)					
上層路盤(車道・路肩部) 県道	瀝青安定処理材(再生材) TOP25	m2		708	
基層(車道・路肩部)					
基層(車道・路肩部) 県道	t = 5 0 mm	m2		708	
表層(車道・路肩部)					
表層(車道・路肩部) 県道	t = 5 0 mm	m2		708	
取付管およびます工					
管路土工					
管路掘削					
床掘り	土砂 上記以外(小規模)	m3		6	
管路埋戻					
埋戻し (土留なし)	再生切込碎石	m3		3	

契約数量表

頁0-0006/0007

費目・工種明細など	規格 1・規格 2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
砂基礎工	スクリーニングス	m3		1	
発生土処理					
発生土 ダンプトラック運搬・処分	4tダンプ・土砂	m3		6	
殻運搬					
アス殻運搬・処分		m3		0.4	
舗装版切断					
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		12	
舗装版破碎					
舗装版破碎(アスファルト舗装版)		m2		4	
下層路盤(車道・路肩部)					
下層路盤(車道・路肩部) 県道	粒調碎石 M-25, M-30, M-40	m2		4	
上層路盤(車道・路肩部)					
上層路盤(車道・路肩部) 県道	瀝青安定処理材(再生材) TOP25	m2		4	
基層(車道・路肩部)					
基層(車道・路肩部) 県道	t = 5 0 mm	m2		4	
表層(車道・路肩部)					
表層(車道・路肩部) 県道	t = 5 0 mm	m2		4	
ます設置工					

契約数量表

費目・工種明細など	規格 1・規格 2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
ます設置工					
ます設置工	ます径 200mm, 設置あり	箇所		1	
取付管布設工					
取付管(塩ビ管)					
取付管布設および支管取付工	管径 100mm, コンクリート製・陶製以外の管	箇所		1	
仮設工					
交通管理工					
交通誘導警備員		式		1	
交通誘導警備員 A					
交通誘導警備員 B					
仮設材運搬費		式		1	
仮設材等の運搬 (往路)					
仮設材等の運搬 (復路)					
仮設材等の積み込み・取卸し					

数量総括表

工 事 名		令和8年度 社会資本整備総合交付金事業 平木地区処理場統合整備工事（1）				事業区分（レベル0）		下水道施設整備	
						工事区分（レベル1）		管路	
工種（レベル2）	種別（レベル3）	細別（レベル4）	名 称	規格（レベル5）	計 算 式		数 量	単位	摘 要
本工事（補助）									
管路									
管きょ工			（φ150）		自然150				
管路土工									
管路掘削									
			床掘工	（小規模）土留なし 土砂	334.18	334.18	330	m ³	
			機械掘削工	BH0.28 土砂 土留有り	787.27	787.27	780	m ³	
管路埋戻									
			機械埋戻工	（小規模）土留なし 再生切込碎石	177.37	177.37	170	m ³	
			機械埋戻工	BH0.28（土留有） 再生切込碎石	550.82	550.82	550	m ³	
発生土処理									
			ダンプトラック運搬・処分	4tダンプ・土砂 DID区間無し・2.1km	1,121.45	1,121.45	1,120	m ³	
管布設工									
硬質塩化ビニル管									
			硬質塩化ビニル管設置工	VU管φ150	741.90	741.90	741	m	
管基礎工									
砂基礎			砂基礎工：機械投入	スクリーニングス	235.79	235.79	230	m ³	労+材

数量総括表

工 事 名		令和8年度 社会資本整備総合交付金事業 平木地区処理場統合整備工事（1）				事業区分（レベル0）		下水道施設整備	
						工事区分（レベル1）		管路	
工種（レベル2）	種別（レベル3）	細別（レベル4）	名 称	規格（レベル5）	計 算 式		数 量	単位	摘 要
管路土留工					自然150				
軽量鋼矢板土留									
			軽量鋼矢板立込引抜き工（両）	掘削深2.0m以下	235.00	235.00	235	m	
			軽量鋼矢板立込引抜き工（両）	掘削深2.5m以下	93.00	93.00	93	m	
			軽量鋼矢板立込引抜き工（両）	掘削深3.0m以下	77.00	77.00	77	m	
			土留支保工（設置＋撤去）	1段 2.0m以下	235.00	235.00	235	m	
			土留支保工（設置＋撤去）	2段 3.5m以下	170.00	170.00	170	m	
			軽量鋼矢板賃料				1	式	
			軽量金属支保工賃料				1	式	
マンホール工									
組立マンホール工									
組立1号マンホール									
			設置工	MH≤3.00	18	18	18	箇所	
			設置工	3.00<MH≤4.00	1	1	1	箇所	
			鉄蓋	加東市型 T-25はしご付	19	19	19	組	
			ボルト緊結セット	150mm	13	13	13	個	
			ボルト緊結セット	250mm	6	6	6	個	
			無収縮モルタル	25kg	14	53.0cm（調整高さ）×62.5kg/10cm÷25kg/袋=13.25袋→14袋	14	袋	

数量総括表

工 事 名		令和8年度 社会資本整備総合交付金事業 平木地区処理場統合整備工事（1）				事業区分（レベル0）		下水道施設整備	
						工事区分（レベル1）		管路	
工種（レベル2）	種別（レベル3）	細別（レベル4）	名 称	規格（レベル5）	計 算 式		数 量	単位	摘 要
			調整リング	50mm	2	2	2	個	
			調整リング	80mm	1	1	1	個	
			調整リング	100mm	13	13	13	個	
			調整リング	150mm	3	3	3	個	
			斜壁	300mm	1	1	1	個	
			斜壁	450mm	16	16	16	個	
			斜壁	600mm	2	2	2	個	
			直壁	900mm	3	3	3	個	
			躯体	700mm	10	10	10	個	
			躯体	1000mm	1	1	1	個	
			躯体	1300mm	5	5	5	個	
			躯体	1600mm	2	2	2	個	
			躯体	1900mm	1	1	1	個	
			可とう性継手	φ150 バンドタイプ	39	39	39	個	
			人孔削孔工	VUφ150	20	20	20	箇所	
			底部工	砕石、インバート	18	18	18	箇所	1方向
			底部工	砕石	1	1	1	箇所	No. 19人孔

数量総括表

工 事 名		令和8年度 社会資本整備総合交付金事業 平木地区処理場統合整備工事（1）				事業区分(レベル0)		下水道施設整備	
						工事区分(レベル1)		管路	
工種(レベル2)	種別(レベル3)	細別(レベル4)	名 称	規格(レベル5)	計 算 式		数 量	単位	摘 要
			内副管		自然150				
			内副管取付工	段差1.0m未満	1	1	1	箇所	
			内副管取付工	段差1.0m以上1.5m未満	1	1	1	箇所	
			内副管取付工	段差1.5m以上2.0m未満	2	2	2	箇所	
			キャップ付き 貼付型内副管継手	VU150-100	4	4	4	個	
			90° 曲管	VUφ100	4	4	4	個	
			プレーエンド直管	VUφ100	4.30	4.30	4.30	m	
			内副管用固定バンド	VUφ100	8	8	8	組	
			人孔連絡工						
			人孔連絡工						
			コンクリート削孔	No. 流末	1	1	1	箇所	
			可とう性継手	φ150 貼付タイプ	1	1	1	個	既設流末
			間詰コンクリート		0.001	0.001	0.001	m3	
			付帯工						
			舗装撤去工						
			舗装版切断						
			舗装版切断	As15cm以下	1,518.00	1,518.00	1,510	m	
			カッター汚泥処分						
			汚泥運搬	4tトラック	0.80 0.4 h ×2 回	0.80	0.8	時間	

数 量 総 括 表

工 事 名					事業区分(レ^\ l0)		下水道施設整備
					工事区分(レ^\ l1)		管路
工種(レ^\ l2)	名 称	規格(レ^\ l5)	計 算 式		数 量	単位	摘 要
種別(レ^\ l3)							
細別(レ^\ l4)							
	汚泥処分費	取付管・ます施工含む DID区間無し・11.0km	4.93	4.93	4.9	t	
舗装版破碎							
	舗装版破碎	As15cm以下	708.45	708.45	700	m ²	
殻運搬処理							
	殻運搬・処分	As殻 15cm以下 DID区間無し・9.1km	70.86	70.86	70	m ³	
舗装復旧工			自然150				
下層路盤							
	路盤（県道）	粒度調整M-30 t=100	708.45	708.45	708	m ²	
上層路盤							
	路盤（県道）	加熱安定処理25 t=100	708.45	708.45	708	m ²	
基層							
	基層（県道）	再生粗粒度20As t=50	708.45	708.45	708	m ²	
表層							
	表層（県道）	再生密粒度13As t=50	708.45	708.45	708	m ²	
取付管およびます工							
管路土工							
管路掘削							
	床掘工	（小規模）土留なし 土砂	6.36	6.36	6	m ³	
管路埋戻							

数 量 総 括 表

工 事 名					令和8年度 社会資本整備総合交付金事業 平木地区処理場統合整備工事（１）			事業区分（レベル0）		下水道施設整備
								工事区分（レベル1）		管路
工種（レベル2）	種別（レベル3）	細別（レベル4）	名 称	規格（レベル5）	計 算 式			数 量	単位	摘 要
			埋戻工	再生切込碎石	3.67		3.67	3	m ³	
			埋戻工	スクリーニングス	1.66		1.66	1	m ³	
			発生土処理							
			ダンプトラック運搬・処分	4tダンプ ・土砂 DID区間無し・2.1km	6.36		6.36	6	m ³	
			殻運搬処理							
			殻運搬・処分	As殻 15cm以下 DID区間無し・9.1km	0.46		0.46	0.4	m ³	
			舗装版切断							
			舗装版切断	As15cm以下	12.20		12.20	12	m	
			舗装版破碎							
			舗装版破碎	As15cm以下	4.58		4.58	4	m ²	
			舗装復旧工							
			下層路盤							
			路盤（県道）	粒度調整M-30 t=100	4.58		4.58	4	m ²	
			上層路盤							
			路盤（県道）	加熱安定処理25 t=100	4.58		4.58	4	m ²	
			基層							
			基層（県道）	再生粗粒度20As t=50	4.58		4.58	4	m ²	
			表層							
			表層（県道）	再生密粒度13As t=50	4.58		4.58	4	m ²	

数量総括表

工 事 名		令和8年度 社会資本整備総合交付金事業 平木地区処理場統合整備工事（1）				事業区分（レベル0）		下水道施設整備	
						工事区分（レベル1）		管路	
工種（レベル2）	種別（レベル3）	名 称	規格（レベル5）	計 算 式		数 量	単位	摘 要	
細別（レベル4）									
		ます設置工							
		ます設置工							
		ます設置工	ます径200 防護蓋設置あり	1	1	1	箇所		
		取付管布設工							
		取付管（塩ビ管）							
		管布設工	VU100	7.33	7.33	7	m	1箇所	
		仮設工							
		交通管理工							
		交通誘導警備員							
		交通誘導警備員A	屋間勤務（交代要員あり）	52	52	52	人日		
		交通誘導警備員B	屋間勤務（交代要員あり）	104	104	104	人日		
		共通仮設費（積上分）		自然150					
		共通仮設費（積上分）							
		仮設材運搬費		矢板					
		仮設材等の運搬	往路 14.1km	8.24	8.24	8.2	t		
		仮設材等の運搬	復路 14.1km	8.24	8.24	8.2	t		
		仮設材等の積込み・取卸し	往復分	8.24	8.24	8.2	t		

数量集計表

VUφ150mm管布設工

種 目	規 格	単位	数 量			備 考
					合計	
人孔間距離		m	759.00		759.00	
管材料						
VUφ150 延長		m	741.90		741.90	
	L=4.00m/本	本	185.5		186	
マンホール可とう継手	VUφ150用	個	39		39	組立MH用
管布設工						
管布設工 VUφ150		m	741.90		741.90	
砂基礎工 基礎延長		m	738.10		738.10	
	基礎砂量	m ³	235.79		235.79	
土 工						
掘削工 小規模 素掘り 土留なし		m ³	334.18		334.18	
	機械 土留め	m ³	787.27		787.27	掘削工計 1121,45m3
埋戻し工 再生砕石 小規模 素掘り 土留なし		m ³	177.37		177.37	
	再生砕石 機械 土留め	m ³	550.82		550.82	埋戻し計 728,19m3
舗装工						
舗装切断工 AS t=15cm以下		m	1518.00		1518.00	
舗装取壊工 AS t=15cm以下		m ²	708.45		708.45	
舗装工 県道車道		m ²	708.45		708.45	
土砂処分工 土砂		m ³	1121.45		1121.45	
ガラ処分工 Asガラ		m ³	70.86		70.86	

管 渠 数 量 計 算 書

VUφ150mm

機械掘削

埋戻し材：再生碎石

管 渠 番 号	人 孔 番 号	人 孔 種 別	人 孔 間 距 離	管 体 延 長		管 材 料		基 礎 延 長		掘削深	平均掘削深	掘削幅	舗装種別	舗装切断	舗 装 取 壊	掘 削 工			砂基礎	埋 戻 し		舗 装 工			残 土		備 考	
				人孔減長	管体延長	塩ビ管	人孔減長	基礎延長	全体体積							舗装控除	土量	流用土		再生砕石	県道車道	市道車道	処理場	土砂	As がら			
m	m	m	m	m	m	m	m	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ²	m ²	m ²	m ³	m ³										
SG21	流末	既設1号組立		0.45			0.550		1.35					0.10					0.00	0.30								
	1	1号組立	30.00	0.45	29.10	29.10	0.550	28.90	1.86	1.605	1.05	県道車道	60.00	31.50	50.56	3.15	47.41	10.46	0.00	30.03	31.50	0.00	0.00	47.41	3.15			
H5	1	1号組立		0.45			0.550		1.84					0.10					0.00	0.30								
	2	1号組立	45.00	0.45	44.10	44.10	0.550	43.90	2.66	2.250	1.05	県道車道	90.00	47.25	106.31	4.73	101.58	15.89	0.00	75.31	47.25	0.00	0.00	101.58	4.73			
H5	2	1号組立		0.45			0.550		1.27					0.10					0.00	0.30								
	3	1号組立	48.00	0.45	47.10	47.10	0.550	46.90	1.79	1.530	1.05	県道車道	96.00	50.40	77.11	5.04	72.07	16.97	0.00	44.02	50.40	0.00	0.00	72.07	5.04			
H5	3	1号組立		0.45			0.550		1.77					0.10					0.00	0.30								
	4	1号組立	48.00	0.45	47.10	47.10	0.550	46.90	2.58	2.175	1.05	県道車道	96.00	50.40	109.62	5.04	104.58	16.97	0.00	76.53	50.40	0.00	0.00	104.58	5.04			
H5	4	1号組立		0.45			0.550		2.56					0.10					0.00	0.30								
	5	1号組立	35.00	0.45	34.10	34.10	0.550	33.90	3.07	2.815	1.05	県道車道	70.00	36.75	103.45	3.68	99.77	12.27	0.00	79.43	36.75	0.00	0.00	99.77	3.68			
H5	5	1号組立		0.45			0.550		1.27					0.10					0.00	0.30								
	6	1号組立	69.00	0.45	68.10	68.10	0.550	67.90	1.29	1.280	0.80	県道車道	138.00	55.20	70.66	5.52	65.14	18.37	0.00	34.27	55.20	0.00	0.00	65.14	5.52			
H5	6	1号組立		0.45			0.550		1.27					0.10					0.00	0.30								
	7	1号組立	25.00	0.45	24.10	24.10	0.550	23.90	1.29	1.280	0.80	県道車道	50.00	20.00	25.60	2.00	23.60	6.47	0.00	12.62	20.00	0.00	0.00	23.60	2.00			
H5	7	1号組立		0.45			0.550		1.27					0.10					0.00	0.30								
	8	1号組立	75.00	0.45	74.10	74.10	0.550	73.90	1.29	1.280	0.80	県道車道	150.00	60.00	76.80	6.00	70.80	20.00	0.00	37.22	60.00	0.00	0.00	70.80	6.00			
H5	8	1号組立		0.45			0.550		1.27					0.10					0.00	0.30								
	9	1号組立	14.00	0.45	13.10	13.10	0.550	12.90	1.29	1.280	0.80	県道車道	28.00	11.20	14.34	1.12	13.22	3.49	0.00	7.21	11.20	0.00	0.00	13.22	1.12			
H5	9	1号組立		0.45			0.550		1.27					0.10					0.00	0.30								
	10	1号組立	56.00	0.45	55.10	55.10	0.550	54.90	1.89	1.580	1.05	県道車道	112.00	58.80	92.90	5.88	87.02	19.87	0.00	54.22	58.80	0.00	0.00	87.02	5.88			
H5	10	1号組立		0.45			0.550		1.27					0.10					0.00	0.30								
	11	1号組立	15.00	0.45	14.10	14.10	0.550	13.90	1.29	1.280	0.80	県道車道	30.00	12.00	15.36	1.20	14.16	3.76	0.00	7.70	12.00	0.00	0.00	14.16	1.20			
H5	11	1号組立		0.45			0.550		1.27					0.10					0.00	0.30								
	12	1号組立	15.00	0.45	14.10	14.10	0.550	13.90	1.29	1.280	0.80	県道車道	30.00	12.00	15.36	1.20	14.16	3.76	0.00	7.70	12.00	0.00	0.00	14.16	1.20			
H5	12	1号組立		0.45			0.550		1.27					0.10					0.00	0.30								
	13	1号組立	50.00	0.45	49.10	49.10	0.550	48.90	1.29	1.280	0.80	県道車道	100.00	40.00	51.20	4.00	47.20	13.23	0.00	24.92	40.00	0.00	0.00	47.20	4.00			
H5	13	1号組立		0.45			0.550		1.27					0.10					0.00	0.30								
	14	1号組立	20.00	0.45	19.10	19.10	0.550	18.90	1.29	1.280	0.80	県道車道	40.00	16.00	20.48	1.60	18.88	5.11	0.00	10.16	16.00	0.00	0.00	18.88	1.60			
H5	14	1号組立		0.45			0.550		1.27					0.10					0.00	0.30								
	15	1号組立	15.00	0.45	14.10	14.10	0.550	13.90	1.29	1.280	0.80	県道車道	30.00	12.00	15.36	1.20	14.16	3.76	0.00	7.70	12.00	0.00	0.00	14.16	1.20			
H5	15	1号組立		0.45			0.550		1.27					0.10					0.00	0.30								
	16	1号組立	62.00	0.45	61.10	61.10	0.550	60.90	2.13	1.700	1.05	県道車道	124.00	65.10	110.67	6.51	104.16	22.04	0.00	67.80	65.10	0.00	0.00	104.16	6.51			
H5	16	1号組立		0.45			0.550		2.11					0.10					0.00	0.30								
	17	1号組立	42.00	0.45	41.10	41.10	0.550	40.90	3.11	2.610	1.05	県道車道	84.00	44.10	115.10	4.41	110.69	14.80	0.00	86.20	44.10	0.00	0.00	110.69	4.41			
H5	17	1号組立		0.45			0.550		1.27					0.10					0.00	0.30								
	18	1号組立	56.00	0.45	55.10	55.10	0.550	54.90	1.29	1.280	0.80	県道車道	112.00	44.80	57.34	4.48	52.86	14.86	0.00	27.87	44.80	0.00	0.00	52.86	4.48			
H5	18	1号組立		0.45			0.550		1.27					0.10					0.00	0.30								
	19	1号組立	39.00	0.45	38.10	38.10	0.550	37.90	1.86	1.565	1.05	県道車道	78.00	40.95	64.09	4.10	59.99	13.71	0.00	37.28	40.95	0.00	0.00	59.99	4.10			
																			再生砕石=(平均掘削深-舗装厚)×人孔間距離×掘削幅-基礎延長×掘削幅×砂基礎厚									
土																												

土留工

[illegible]

土留工

[illegible]

補助 土留数量計算書

YUφ150mm

機械掘削部

管 番 号	人 孔 番 号	人孔間 距離		掘削深 m	掘削深の区分						軽量鋼矢板 矢板長				軽量金属製(アルミ)支保工				備 考			
		m	m		H≤1.5m	1.5<H≤2.0 m	2.0<H≤2.5 m	2.5<H≤3.0 m	土留無し		1.5<H≤1.8 2.0m	1.8<H≤2.3 2.5m	2.3<H≤2.8 3.0m	2.8<H≤3.3 3.5m	掘削幅 m	1段梁		2段梁				
									H≤1.5 m	H≤1.5 m						H≤2.0 m	H≤2.0 m	H≤2.0 m		H≤2.0 m	2.0<H≤3.5 m	2.0<H≤3.5 m
SG21	既設1号組立	1	30.00	1.605		30.00										1.05	30.00					
H5	1		45.00	2.250												1.05			45.00			
	2							45.00														
H5	2															1.05	48.00					
	3		48.00	1.530		48.00				48.00												
H5	3																					
	4		48.00	2.175				48.00		48.00						1.05			48.00			
H5	4																					
	5		35.00	2.815					35.00				35.00			1.05			35.00			
H5	5																					
	6		69.00	1.280		69.00				69.00						0.80						
H5	6																					
	7		25.00	1.280		25.00				25.00						0.80						
H5	7																					
	8		75.00	1.280		75.00				75.00						0.80						
H5	8																					
	9		14.00	1.280		14.00				14.00						0.80						
H5	9																					
	10		56.00	1.580			56.00				56.00					1.05	56.00					
H5	10																					
	11		15.00	1.280		15.00				15.00						0.80						
H5	11																					
	12		15.00	1.280		15.00				15.00						0.80						
H5	12																					
	13		50.00	1.280		50.00				50.00						0.80						
H5	13																					
	14		20.00	1.280		20.00				20.00						0.80						
H5	14																					
	15		15.00	1.280		15.00				15.00						0.80						
H5	15																					
	16		62.00	1.700			62.00				62.00					1.05	62.00					
H5	16																					
	17		42.00	2.610					42.00			42.00				1.05			42.00			
H5	17																					
	18		56.00	1.280		56.00										0.80						
H5	18																					
	19		39.00	1.565			39.00				39.00					1.05	39.00					
合計		759.00	354.00	235.00	93.00	77.00	354.00	235.00	93.00	170.00	235.00	93.00	42.00	35.00	17.45	235.00	170.00					

1号組立人孔集計表

名 称	形状寸法	単 位	1号組立			合計	摘 要
設置箇所	MH $\leq$ 3.00	箇所	18			18	
	3.00<MH $\leq$ 4.00	箇所	1			1	No.17
	4.00<MH $\leq$ 5.00	箇所					
	5.00<MH $\leq$ 6.00	箇所					
鉄 蓋	車道用(T-14)ハシゴ付き	組					
	車道用(T-25)ハシゴ付き	組	19			19	
ボルト緊結セット	H=150mm	組	13			13	
	H=250mm	組	6			6	
調整リング	50	個	2			2	
	80	個	1			1	
	100	個	13			13	
	150	個	3			3	
斜壁ブロック	300	個	1			1	
	450	個	16			16	
	600	個	2			2	
直壁ブロック	300	個					
	600	個					
	900	個	3			3	
	1200	個					
	1500	個					
躯体ブロック (底版含む)	700	個	10			10	
	900	個					
	1000	個	1			1	
	1300	個	5			5	
	1600	個	2			2	
	1900	個	1			1	
削 孔	ϕ 150	箇所	20			20	
	ϕ 150(既設人孔)	箇所	1			1	既設流末
底部工	間詰コンクリート	m ³ /箇所	0.001			0.001	既設流末
底部工 No.1~18	底部工	箇所	18			18	
	基礎碎石 t=20cm	m ³ /箇所	0.95			17.1	内訳書より
	コンクリート	m ³ /箇所	0.103			1.85	内訳書より
	モルタル上塗	m ³ /箇所	0.713			12.83	内訳書より
底部工 No.19	底部工	箇所	1			1	
	基礎碎石 t=20cm	m ³ /箇所	0.95			0.95	内訳書より
インバート	1方向	箇所	18			18	No.19除く
	2方向	箇所					
	3方向	箇所					
可とう性継ぎ手	ϕ 150(バンドタイプ)	個	39			39	
	ϕ 150(貼付タイプ)	個	1			1	既設流末

1号組立人孔
補助

マン ホー ル 番 号	マン ホー ル 深 m	調 整 高 mm	削 孔 既設	ブ ロ ッ ク 類																								ボルト 緊結 セット		蓋 受	底 部 工 組	MH 可とう性 継ぎ手 ハンド 貼付	備 考
				底 版		軀 体 ブ ロ ッ ク						直 壁						斜 壁			調整リング												
				150	150	P	PB	70	90	100	130	160	190	30	60	90	120	150	180	30	45	60	15	5	8	10	15	150	250				
				個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	mm	mm			
No流末			1																											1	終点		
No1	1.751	41	1						1									1				1				1		1	1	2			
No2	2.550	40	1						1					1				1					1			1	1	1	1	2			
No3	1.680	20	1					1											1						1		1	1	1	2			
No4	2.471	61	1								1							1							1		1	1	1	2			
No5	2.959	19	1							1				1				1				1				1		1	1	2			
No6	1.179	19	1				1											1					1			1		1	1	2			
No7	1.178	18	1				1											1					1			1		1	1	2			
No8	1.178	18	1				1											1					1			1		1	1	2			
No9	1.178	18	1				1											1					1			1		1	1	2			
No10	1.784	24	1							1								1					1				1	1	1	2			
No11	1.178	18	1				1											1					1			1		1	1	2			
No12	1.178	18	1				1											1					1			1		1	1	2			
No13	1.178	18	1				1											1					1			1		1	1	2			
No14	1.178	18	1				1											1					1			1		1	1	2			
No15	1.178	18	1				1											1					1			1		1	1	2			
No16	2.024	64	1							1									1						1		1	1	1	2			
No17	3.002	42	1								1				1				1					1			1	1	1	2			
No18	1.178	18	1				1											1					1			1		1	1	2			
No19	1.748	38	2							1									1			1				1		1	1	3	会合		
合計		530	20	1			10		1	5	2	1			3			1	16	2		2	1	13	3	13	6	19	19	39	1		

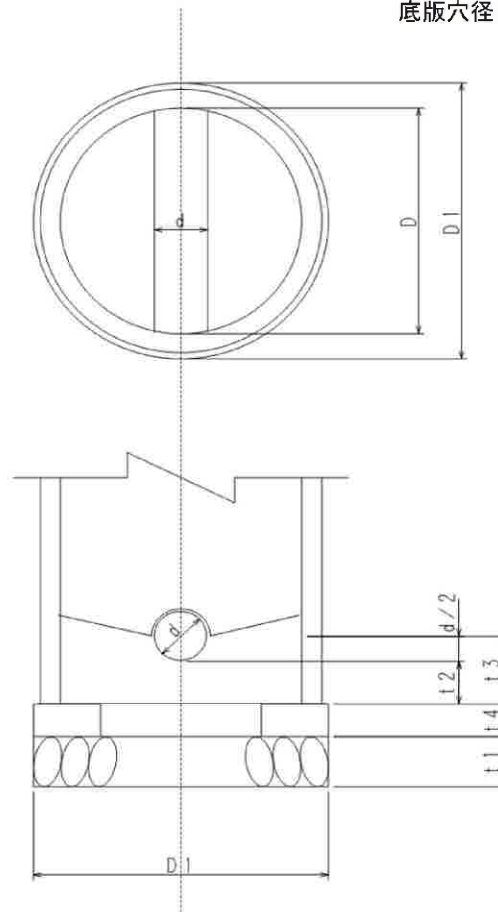
1号組立マンホール底部工計算書(1ヶ所当たり)

VUφ150

算式の根拠となる構造図・他

流出管径: $d =$ 0.150 m
人孔内径: $D =$ 0.900 m
基礎外径: $D1 =$ 1.100 m

基礎厚さ: $t1 =$ 0.200m 0.020m
インハート厚: $t2 =$ 0.100 m
: $t3 =$ 0.175 m
: $t4 =$ 0.100 m
底版穴径: $B =$ 0.000 m

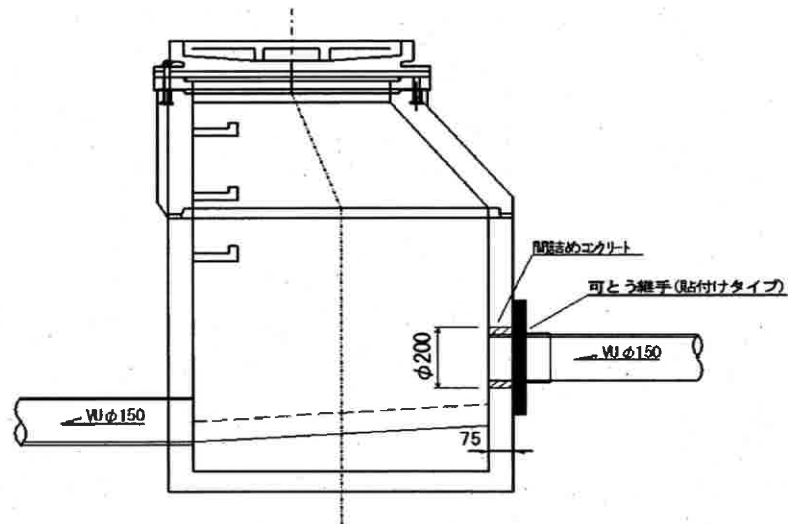


名 称	算 式	単位	数 量
基礎碎石 RC-40	$t1 = 0.200$ $\pi / 4 * D1^2 = \pi / 4 * 1.100^2$	m2	0.950
敷モルタル (t=2cm)	$t1 = 0.020$ $\pi / 4 * D1^2 = \pi / 4 * 1.100^2 * 0.020$	m3	0.019
コンクリート	$\pi / 4 * D^2 * t3 - \pi / 4 * d^2 * 1/2 * D$		
	$= \pi / 4 * 0.900^2 * 0.175 - \pi / 4 * 0.150^2 * 1/2 * 0.900$	m3	0.103
モルタル上塗	$\pi / 4 * D^2 - d * D + (1/2 * \pi * d * D)$		
	$= \pi / 4 * 0.900^2 - 0.150 * 0.900 + 1/2 * \pi * 0.150 * 0.900$	m2	0.713

既設No.流末底部工計算書(1ヶ所当たり)

VU ϕ 150

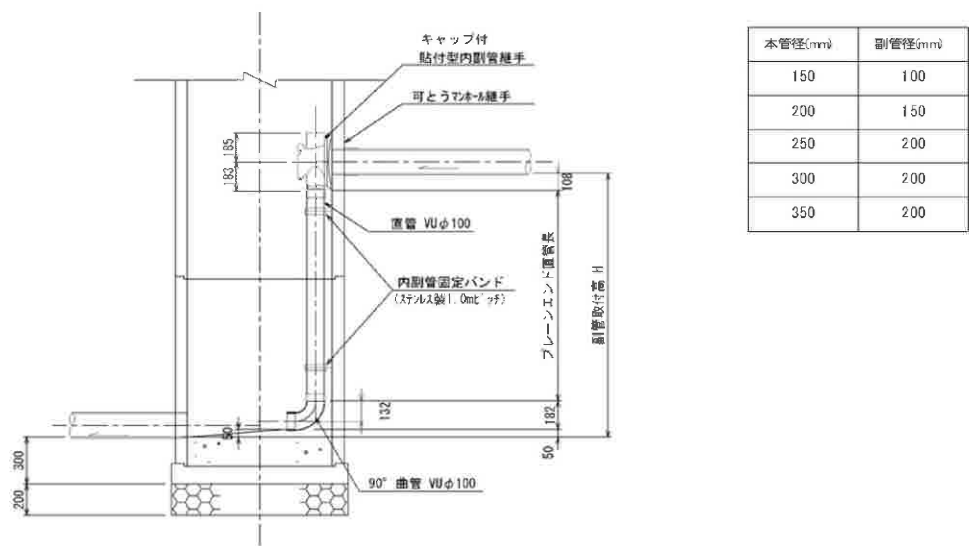
算式の根拠となる構造図・他

[illegible]

副管工集計表

[illegible]

内副管工数量表



マンホール 番号	副管高 m	副管用 90°支管 φ150-φ100 個	90° 曲管 個	直管(ブレンエンド) 4.0m/本		内副管用 固定バンド 本	摘要
				延長	本数		
				m	本		
No.2	1.392	1	1	1.052		2	
No.5	1.801	1	1	1.461		2	
No.10	0.626	1	1	0.286		2	
No.17	1.844	1	1	1.504		2	
合計		4	4	4.303	2	8	

副管設置工 (段差1.0m未満)	1箇所
副管設置工 (1.0m以上1.5m未満)	1箇所
副管設置工 (1.5m以上2.0m未満)	2箇所
副管設置工 (2.0m以上2.5m未満)	0箇所
副管設置工 (2.5m以上3.0m未満)	0箇所
副管設置工 (3.0m以上3.5m未満)	0箇所
副管設置工 (3.5m以上4.0m未満)	0箇所

[illegible]

輕 量 鋼 矢 板 賃 料

$$F = a \times W \times m + W \times c \times K$$

$$H=2.0\text{m使用率}100\%\cdots W=(0.0104\text{kg/m}^2 \times 2\text{m} \times 8\text{枚}) \times 13.0\text{m} = 2.163\text{ t}$$

F: 質料総額 $H=2.5m$ 使用率100%… $W=(0.0104kg/m \cdot 2.5m \cdot 8枚) \cdot 8.8m = 1.830 t$

a : 矢板賃料日数 $H=3.0m$ 使用率100%… $W=(0.0104kg/m \quad 3m*8枚)* \quad 7.3m = 1.822 \text{ t}$

W: 1回当り使用重量 $H=3.5m$ 使用率100%... $W=(0.0104kg/m \cdot 3.5m \cdot 8枚) \cdot 6.9m = 2.009 t$

m : 鋼材質料

N：使用回数

c : 1 回 当 り 修 理 費 及 び 損 耗 費

K: 補正率 $(N+1)/2$

[illegible]

軽量金属支保工賃料算定表

1口当り施工延長

12.0 m

1日1本当り賃料表

(単価調書参照)

品 名	規 格	寸 法	単 位	賃 料		1口当り 使用数量(1段)	賃 料	合 計
				賃 料	基本料			
				円／本／日	円／本／現場	本		
アルミ製腹起し	管埋設工事用	70～80×115～130×4,000	本	F2003	F2004			F2011
水圧式サポート	管埋設工事用	770～1300程度	本	F2005	F2006			
ねじ式サポート	管埋設工事用	450～700程度	本	—	—			
水圧ポンプ	管埋設工事用	タンク容量15～19l	台	F2007	F2008			

供用日数集計表(換算日数)

支保工段数	軽 量 鋼 矢 板						供用日数	換算日数
	H=1.5m	H=2.0m	H=2.5m	H=3.0m	H=3.5m	H=4.0m		
1 段								
2 段								
						合 計		

参考重量表

	規 格	1本当り重量 (kg)	最大施工延長当り重量 (t)
アルミ製腹起し	1本当り 4.00 m	25.10 kg	0.301 t
水圧式サポート	1本当り m	7.50 kg	0.090 t
ねじ式サポート	1本当り m	kg	t
水圧ポンプ		12.30 kg	0.025 t

最大設置段数 2 本

0.416 t

仮設材運搬重量計算表

名 称	規 格	数量	単位 単位重量	運搬重量	摘 要
軽量鋼矢板			t	7.824	
アルミ腹起し材			t	0.301	
水圧式サポート材			t	0.090	
水圧ポンプ			t	0.025	
合計			t	8.240	

特記仕様書

第1条 この仕様書は、下記の工事の施工に適用する。

工 事 名 : 令和8年度 社会資本整備総合交付金事業
平木地区処理場統合整備工事（1）

工 事 場 所 : 加東市平木地内

工 期 : 契約締結日の翌日から令和9年3月26日まで

第2条 本事業は処理場施設の統合による事業の効率化を図るため、供用中の処理場を廃止し、公共下水道へ接続することを目的とする。

第3条 本工事の施工にあたっては、土木工事共通仕様書（以下「共通仕様書」という。）、土木請負工事必携、土木工事施工管理基準、小型構造物標準図集（兵庫県土木部）によるものとする。

第4条 共通仕様書に対する特記事項は、次のとおりとする。

1. 設計図書の照査等

- 1) 本特記仕様書に記載する事項の内、共通仕様書に記載される事項と重複するものについては、本特記仕様書が優先するものとする。
- 2) 本工事の施工に当たっては、事前に設計図書の照査を行うものとし、監督員に確認できる資料を書面により提出するものとする。

2. 工事用地等の使用

- 1) 工事用地区域外への立ち入り
受注者は、工事用地以外の区域へ立ち入りする場合は必ず所有者の承諾を得なければならない。

3. 関係機関との調整

- 1) 地区代表者・隣接土地所有者、その他関係者に工事着手前には十分な工事計画、方法等について説明し理解を求め、施工にあたってはトラブルの発生がないように十分な配慮及び調整を行うこと。また、立木等の伐採が発生する場合は、森林法（昭和26年法律第249号）第34条第1項に基づいて申請すること。

4. 施工体制台帳について

- 1) 受注者は、建設業法第24条の8に基づいて施工体制台帳及び施工体系図を作成し、工事現場に備えるとともに、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律第15条に基づいて監督員に提出するものとする。このとき施工体制台帳は土木請負工事必携5-58、施工体系図は5-62を参考として作成するものとする。

注) 1. 用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。

2. 社印は所属会社の社印とする。

5. 建設副産物について

1) 再生資源の活用

特定建設資材の分別解体等・再資源化等

本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（（平成12年法律第104号）以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、特定建設資材の分別等及び再資源化等の実施について適正な措置をずることとする。

2) 再生資源の利用の促進

受注者は、建設副産物適正処理推進要綱（建設事務次官通達、平成14年5月30日）を遵守して、建設副産物の適正な処理及び再生資源の活用を図らなければならない。

① 提出様式

本工事については、資源の有効な利用の促進に関する法律に基づく再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成するものとする。

なお、再生資源利用計画、再生資源利用促進計画及びその実施状況の記載する様式については、建設副産物対策近畿地方連絡協議会が発行する再生資源利用【促進】計画書（実施書）を使用するものとする。

② 提出方法

作成した再生資源利用【促進】計画書（実施書）は、1部は自社で工事完成後1年間保管し、計画書は1部、実施書は1部と再生資源利用【促進】入力システムを用いて作成した実施書CDを監督員に提出するものとする。

3) 再生資源化等をする施設の名称及び所在地

廃棄物の種類	施設の名称	運搬距離	所在地	摘 要
アスファルト塊	大林道路(株)	9.1km	兵庫県加東市天神1228-39	特定建設資材廃棄物

※ 上記は、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。

なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

4) 受注者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督員に報告することとする。

なお、書面は再生資源利用計画書（実施書）及び再生資源利用促進計画書（実施書）を兼ねるものとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

5) 建設発生土の搬出

建設発生土については、「ハットリ（株）（兵庫県加東市平木1310-1）：運搬距離2.1km」に搬出するものとする。前述は、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合にも設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りでない。

6. 舗装の切断作業に伴い発生する濁水等の適正処理

1) 濁水等の適正処理

舗装の切断作業に伴い発生する濁水等は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、下表の分類により、適正に処理すること。

表 産業廃棄物の分類

区分\工法	濁水が生じる工法(湿式)	濁水が生じない工法(乾式 等)
排出形態	濁水※1	粉体
産業廃棄物の分類	「汚泥」、含まれる成分によっては、「汚泥+廃アルカリ混合物」(※1乾燥させた場合も同様)	「がれき類」※2 (※2政令市等[神戸・尼崎・西宮・明石・姫路]以外における取扱い。政令市等における分類は異なる場合があるため、別途当該市の環境部局に確認のこと)

2) 濁水が生じる工法での処理方法等

濁水が生じる工法(湿式)を採用する場合は、産業廃棄物の「汚泥」または「汚泥+廃アルカリ混合物」として適正に処理すること。収集・運搬・処理方法は下記①～③のとおりとする。

①収集方法

以下の収集方法等により、直接現場外に排水することなく、適正に収集すること。なお、これらの方法は指定ではなく、各現場にて適正に収集することが可能な方法で収集すること。

<収集方法(例)>

- ・濁水を収集する機能を有するカッター機械(バキューム式)による収集
- ・工事用掃除機による収集
- ・濁水をスポンジ等で吸着させバケツ等に移し替えて収集等

②運搬方法

収集した濁水は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の運搬の基準に従い、適正に処理すること。

③処理方法

収集した濁水は、産業廃棄物の「汚泥」として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理すること。

なお、収集した濁水に含まれる成分によっては、産業廃棄物の「廃アルカリ」との混合物に分類される可能性があるため、処理の際には十分注意すること。

また、pH12.5以上の場合は「特別管理産業廃棄物」としての処理が必要となるので十分注意すること。

「廃アルカリ」や「特別管理産業廃棄物」としての処理が必要となった場合には、その処理方法を監督員と協議の上、適正に処理するものとし、その際に必要となる経費については、設計変更の対象とする。

3) 濁水が生じない工法での処理方法等

濁水が生じない工法(空冷式等)を採用する場合は、収集にあたり吸引装置を併用するなど、粉塵の飛散防止対策を行うとともに、収集した粉塵については、産業廃棄物の「がれき類」として適正に処理すること。

4) 当初設計における濁水処理費

当初設計においては、濁水処理費を以下のとおり計上している。①濁水量は実施数量(マニフェストで確認)に応じて設計変更を行う。

①濁水量 4.9 t (8,000円/t)

②運搬費 普通トラック (4) t 運搬

③処理施設

廃棄物の種類	施設の名称	運搬距離	所在地	受入等諸条件	その他
「汚泥」	(株) タケベ	11.0 km	兵庫県西脇市上比延町 41-1	土木部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に記載の当該施設の受入条件を遵守すること	監督員の指示による

上表は、積算参考条件を明示しているものであり、受入施設を指定するものではない。受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき、施工計画書に記載して監督員に提出しなければならない。なお、受注者が選定した施設が、積算参考条件と異なる場合においても設計変更は行わない。

ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設から登録抹消されるなど、受入困難となった場合は、設計変更を行う。

その他、工事発注後に明らかになった事情により、当初想定した積算参考条件により難しい場合は、監督員と協議の上、必要に応じて設計変更を行う。

7. 排出ガス対策型建設機械について

- 1) 本工事において下表に示す建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、「建設技術評価制度」又は「民間開発建設技術の技術審査・証明事業」により評価された「排出ガス浄化装置」を装着した建設機械を使用することで同等とみなす。ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。

上記において、「これにより難しい場合」とは、受注者の都合で調達できない場合を含むものとする。なお、使用する建設機械が排出ガス対策型建設機械であることを確認できる写真を撮影し、完成書類として提出するものとする。

機 種	備 考
・バックホ ・トラクションバル（車輪式） ・ブルドーザ ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧エット （以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧エットを搭載しているもの： 油圧ハンマ、バイブロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入・引抜機、アースオーガ、ホールケーシング掘削機、リバースサキュレションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型ホールケーシング掘削機） ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kW以上、260kW以下）を搭載した建設機械に限る。 ただし、道路運送車両の保安基準に排出ガス基準が定められている自動車で、有効な自動車検査証の交付を受けているものは除く。

8. 交通安全管理について

- 1) 交通誘導員については、交通誘導員A 52名、交通誘導員B 104名を計上しているが、道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果又は、条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は設計図書に関して監督員と協議するものとし、必要に応じて設計変更の対象とする。なお、交通誘導員A・Bの定義は次のとおり。

交通誘導員A： 警備業者の警備員（警備業法（昭和47年法律第117号）第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員。

交通誘導員B： 警備業者の警備員で、交通誘導員A以外の交通の誘導に従事するもの。

- 2) 受注者は、交通誘導員として交通誘導警備検定合格者を配置した場合、交通誘導警備検定合格証（写し）を監督員に提出するものとする。

受注者は、交通誘導員として交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有する警備員を配置した場合、交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有すると確認できる次の資料のいずれかを監督員に提出するものとする。

- ・ 警備員指導教育責任者資格者証（写し）
- ・ 指定講習修了証明書（写し）
- ・ 警備業法施行規則（昭和58年総理府令第1号）第38条第2項に定める基本教育、及び同条第2項、第3項に定める業務別教育（警備業法第2条第1項第2号の警備業務）を受講したことを証明する警備員名簿及び教育実施状況等の写し、及び交通誘導に関する警備業務に従事した期間（実務経験）が1年以上であることを証明する書類。

9. 工事カルテの作成・登録について

- 1) 受注者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万以上の工事について、工事実績情報サービス（CORINS）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土曜日・日曜日・祝日等を除き10日以内に、完成時は工事完成後10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請しなければならない。（ただし、工事請負代金額500万円以上2,500万円未満の工事は、受注・訂正時のみ登録するものとする）

また、（財）日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」が受注者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

- 2) 工事請負代金額500万円以上2,500万円未満の工事（2,500万円以上の工事はすでに含まれている）については、CORINSの登録等にかかる費用は共通仮設費率に含まれている。

10. 安全・訓練等について

1) 安全・訓練等の実施

本工事の施工に際し、現場に即した安全訓練等について工事着手後、原則として作業員全員の参加によって、1箇月あたり半日以上時間を割当、現場に即した安全訓練等を実施すること。

2) 安全・訓練等に関する施工計画の作成

施工に先立ち作成する施工計画書に、本工事の内容に応じた安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督員に提出すること。

3) 安全・訓練等の実施状況報告

安全・訓練等の実施状況をビデオ又は工事報告（工事月報）に記録し報告すること。

11. 週休2日制度について

- 1) 本工事は原則週休2日（土曜・日曜）を確実に取得できるよう工事を実施する「週休2日制度」の対象工事である。（受注者は契約後、週休2日を反映した施工計画書を提出する。）建設業へ入職しやすい環境整備のため週休2日が確実に確保できるよう受発注者間で工程を調整し施工計画を作成するなどの取り組みを行う。

- 2) 悪天候や作業工程等の理由により、平日が現場閉所となり、土曜や日曜に作業を行った場合は1ヶ月あたり2日を上限として土曜・日曜の現場閉所日を平日に振り替えることを可能とする。なお、完全週休2日（同一週内での週休2日）または月単位の週休2日が認められる状態になるよう振り替えること。
- 3) 毎月監督員に翌月の現場閉所日を記載した「休日取得計画」を提出すること。
- 4) 現場閉所日の振替を行う場合、工事打合簿により、その理由と振り替える日を事前に監督員に連絡すること。
- 5) 毎月監督員に前月の現場閉所の状況を「休日取得実績報告書」により報告すること。
- 6) 現場稼働中の工期〔工事着手前（現場測量等）、年末年始休暇6日間、夏期休暇3日間、一時中止期間、工場製作期間、工事完了後等の期間を除く〕において現場閉所の週休2日（完全週休2日（土日）または月単位の週休2日）の達成状況（平日振替日を含む）の確認のため受注者は「工事履行報告書」を提出すること。
- 7) 労務費等の補正は行わない。
- 8) 土曜・日曜の休日に受注者の作業員や下請け企業が他の現場で作業に従事することを制限しない。同様に現場代理人等（監理技術者、主任技術者、監理技術者補佐）が休日に書類作成等の内勤業務や他の現場に従事することを制限しない。ただし専任のものである場合、他の現場に従事しないこと。
- 9) 受注者は週休2日制度から週休2日制度（交代制）へ変更する場合、工事着手までに発注者と協議の上変更することができる。ただし工事着手後の変更は認めない。
- 10) 下請企業に対し週休2日の取り組みにあたり必要な事項について協力を求めること。
- 11) 受注者は週休2日制度対象工事であることを工事看板に明記すること。

1 2. レディーミクストコンクリート

共通仕様書 第1編共通編 第3章無筋・鉄筋コンクリート 第3節レディーミクストコンクリートの規定によるものとする。

1 3. 下層路盤材について

アスファルトコンクリート塊を原料とする再生切込碎石を下層路盤材として使用する場合は、別途資材と混合して使用するものとし、アスファルトコンクリート塊の混合割合は重量比60%以下とする。

ただし、別途資材として鉄鋼スラグ路盤材、アッシュストーンを30%以上混合した場合に限り、アスファルトコンクリート塊の混合割合は上記規定を適用しない。

なお、生産者の都合により再生碎石の供給に支障がある場合は、監督員と協議の上新石に変更することとし、設計変更の対象とする。

1 4. 不正軽油の使用の禁止

- 1) 受注者は、工事の施工にあたり、使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。
- 2) 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合には、速やかに是正措置を講じなければならない。

1 5. その他

- 1) 本特記仕様書および土木請負工事必携・土木工事共通仕様書・土木工事施工管理基準に記載のない事項および疑義が生じた場合は、監督員と協議のうえその指示に従うものとする。

- 2) 完成図書はイージーキャビネット(幅365高さ290奥行き450)に入れて提出すること。
- 3) 竣工図は、PDF (A3) データとCADデータ (DWGまたはSFC) 及びA1サイズで製本し提出すること。
- 4) 管路(自然流下) 確認については、監督員立会の上レベルで高さ確認を行う。また管路に水を流しミラーや目視により水が滞留していないかの確認をする。
※場合によっては受注者負担でカメラ調査を行う。
- 5) 土留め工について
土留の使用に際して事前に監督員の承諾を得ること。
- 6) 加東市下水道用鋳鉄製マンホール蓋

(1) 適用範囲

本市が使用する下水道用鋳鉄製マンホール蓋(次世代型)に適用するものとし、その種類は次項の通りとする。

(2) 種類

種類		呼び	荷重区分
下水道用鋳鉄製マンホール蓋	技術マニュアル※準拠	呼び600	T-25

※公益財団法人 日本下水道新技術機構発行『アセットマネジメントの実践に向けた次世代型マンホール蓋技術マニュアル』(2024年6月)を示す。

(3) 性能項目

公益財団法人 日本下水道新技術機構発行の『アセットマネジメントの実践に向けた次世代型 マンホール蓋技術マニュアル』(2024年6月)(以下、「技術マニュアル」という。)に準拠した性能とする。

なお、防食性能については、硫酸浸漬試験(傷あり、pH1)の条件も実施すること。

また、開口部を設ける製品については、製造業者は設計図書にて耐荷重強さなどが規定値内であることを提示すること。

7) 関係機関及び別工事との調整

関係者に工事着手前には十分な工事計画、方法等についての説明し理解を求め施工にあたってはトラブルの発生がないように十分な配慮及び調整を行うこと。

また、別発注予定の下水道工事との綿密な工程調整の上、施工すること。

8) 工事用標示板について

工事看板は下図を標準とするが、図案が完成した際、事前に監督員に確認を取り了承を得てから作成し、設置すること。

汚水管工事中

〇〇〇〇〇工事

区間 加東市 〇〇 地内

期間 〇年〇月〇日～〇年〇月〇日

施工 △△△△株式会社

TEL 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇



加東
伝の助
かとう
でんのすけ

発注者 加東市上下水道部工務課
TEL 0795-43-0534

建設産業の労働条件を改善するため、
原則土曜・日曜の休工に取り組んでいます。

週休2日制

対象工事です。

この工事は、



●●建設株式会社

令和8年度 社会資本整備総合交付金事業

平木地区処理場統合整備工事（１）

兵庫県 加東市 平木 地内

設 計 図 面

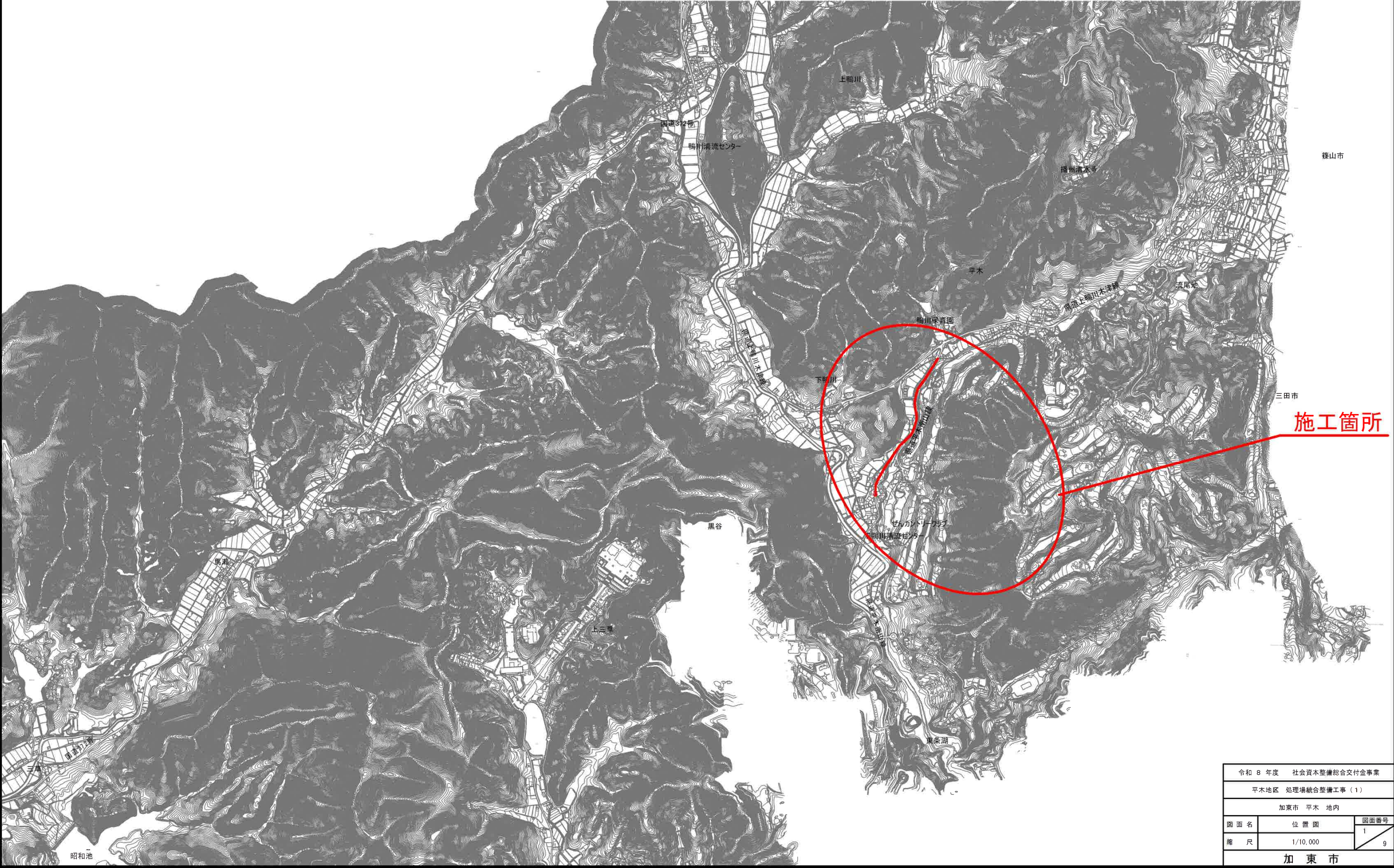
(土 木 工 事)

加東市 上下水道部 工務課

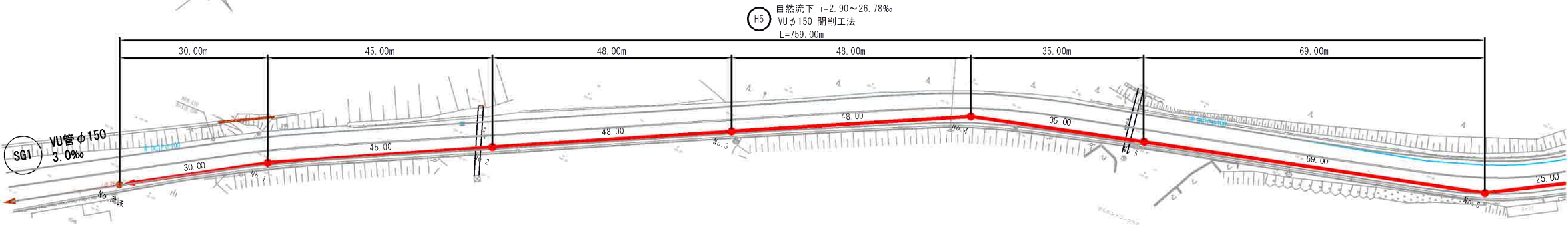
目 次

[illegible]

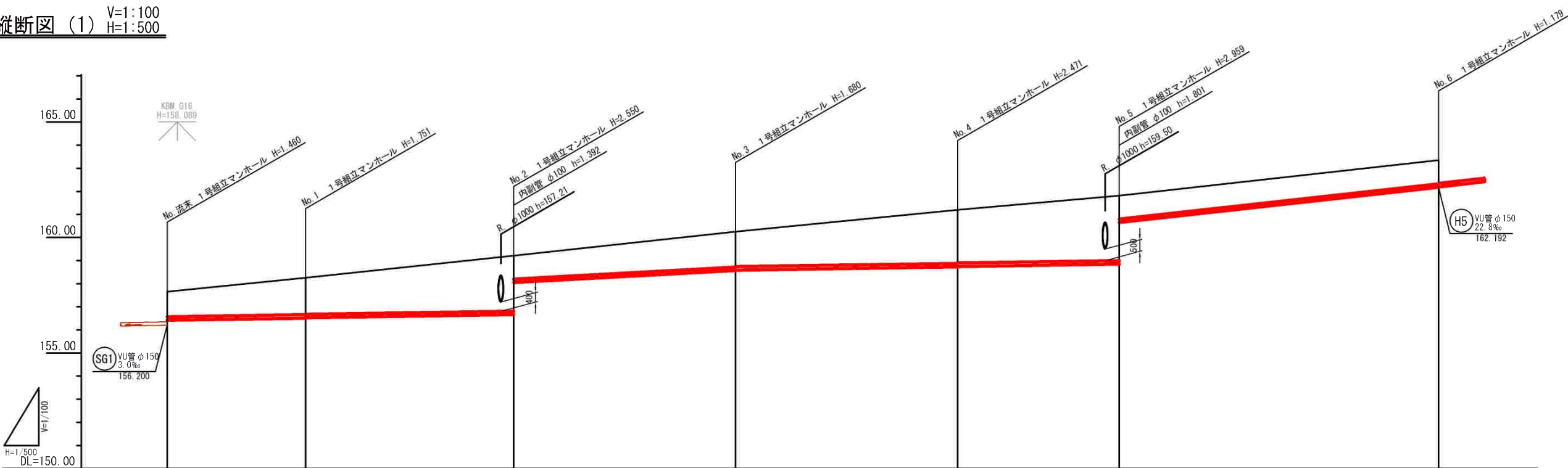
位置図 S=1:10,000



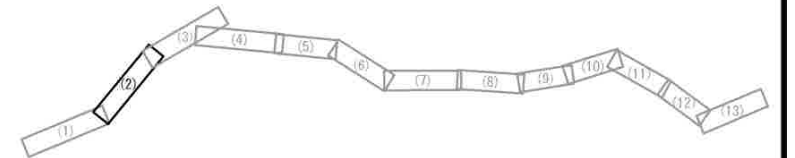
平面図 (1) S=1:500



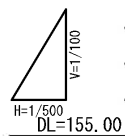
縦断面図 (1) V=1:100
H=1:500



管 番 号	(H5)					
管 径	VU管φ150					
勾 配	2.90‰		2.91‰		22.01‰	
管体延長	29.10		44.10		68.10	
土 被 り	1.08	1.59 1.57	2.39 1.00	1.52 1.50	2.31 2.29	2.80 1.00
管 底 高	156.422	156.509 156.529	156.660 156.052	158.570 158.590	158.729 158.749	158.851 160.652
掘 削 深	1.35	1.86 1.84	2.66 1.27	1.79 1.77	2.58 2.56	3.07 1.27
地 盤 高	157.66	158.26	159.21	160.25	161.20	161.81
追 加 距 離	0.00	30.00	75.00	123.00	171.00	206.00
単 距 離	0.00	30.00	45.00	48.00	48.00	35.00
測 点	No. 流末	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5



V=1 : 100
H=1 : 500



H5

令和 8 年度 社会資本整備総合交付金事業

平木地区 処理場統合整備工事(1)

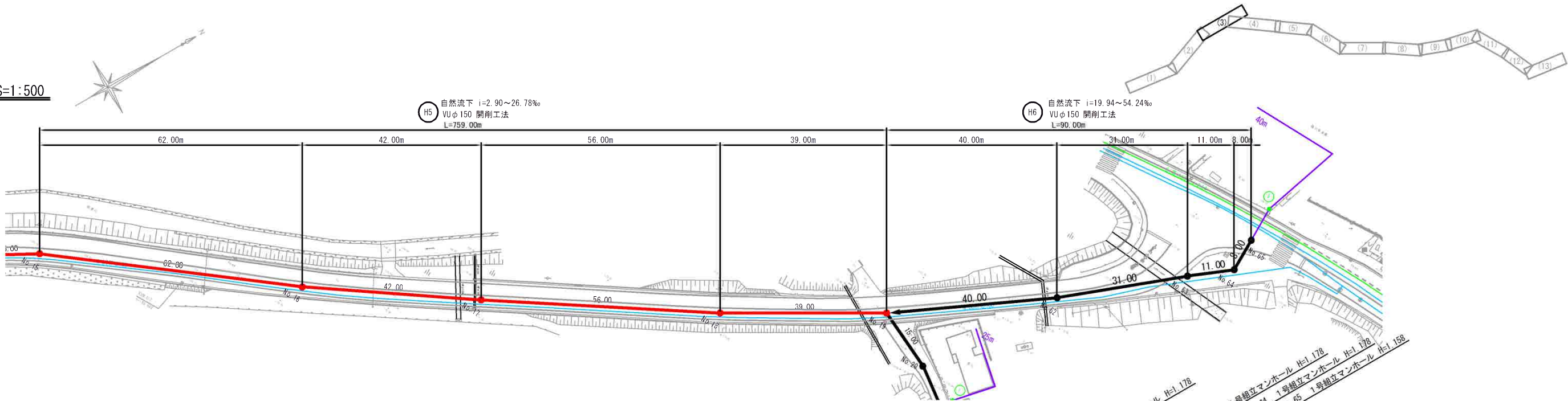
加東市 平木 地内

図面名	平面図・縦断図 (2)	図面番号
-----	-------------	------

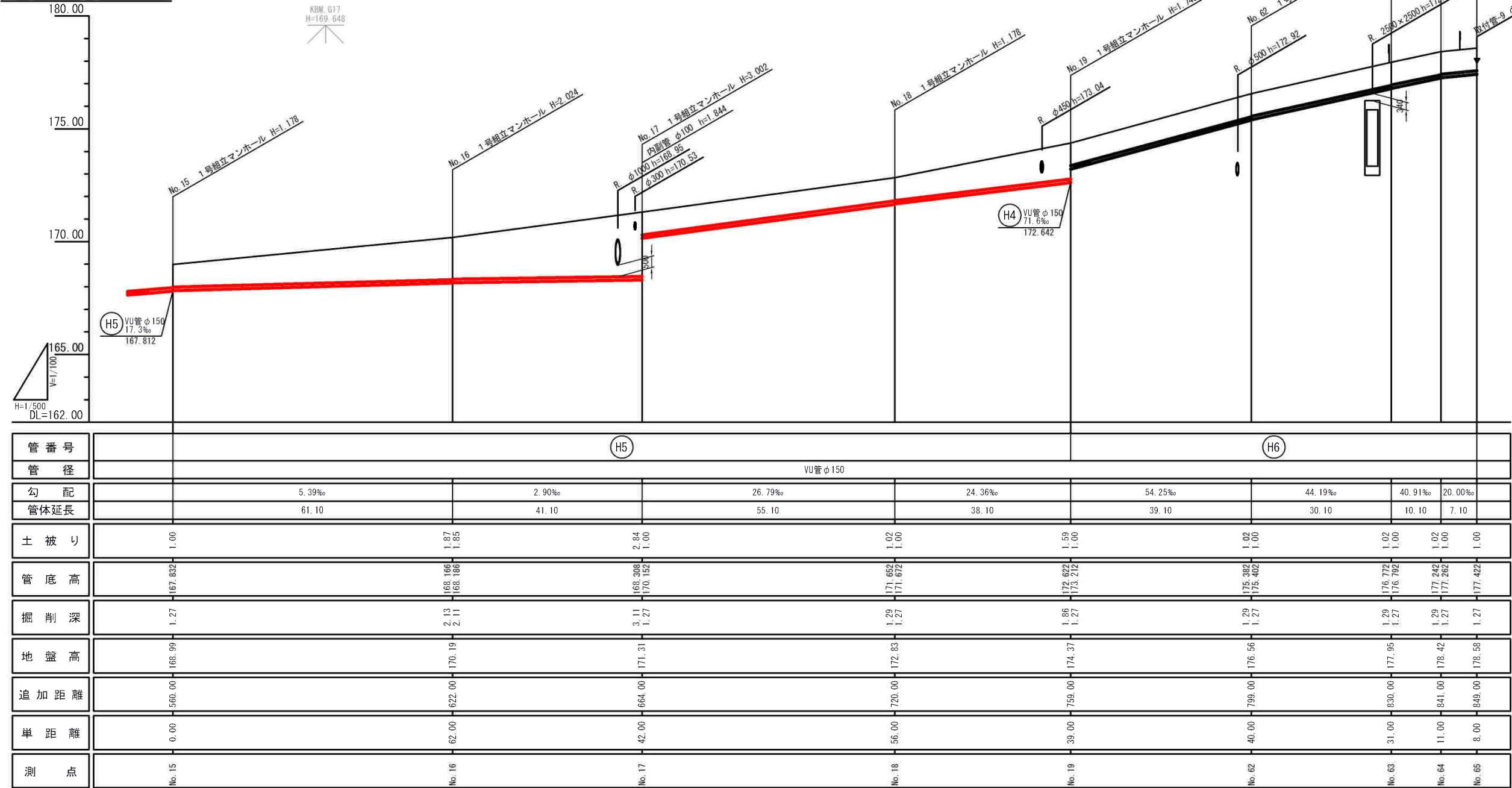
縮尺	平面図：1/500 断面図：V-1/100 H-1/500
----	----------------------------------

加東市

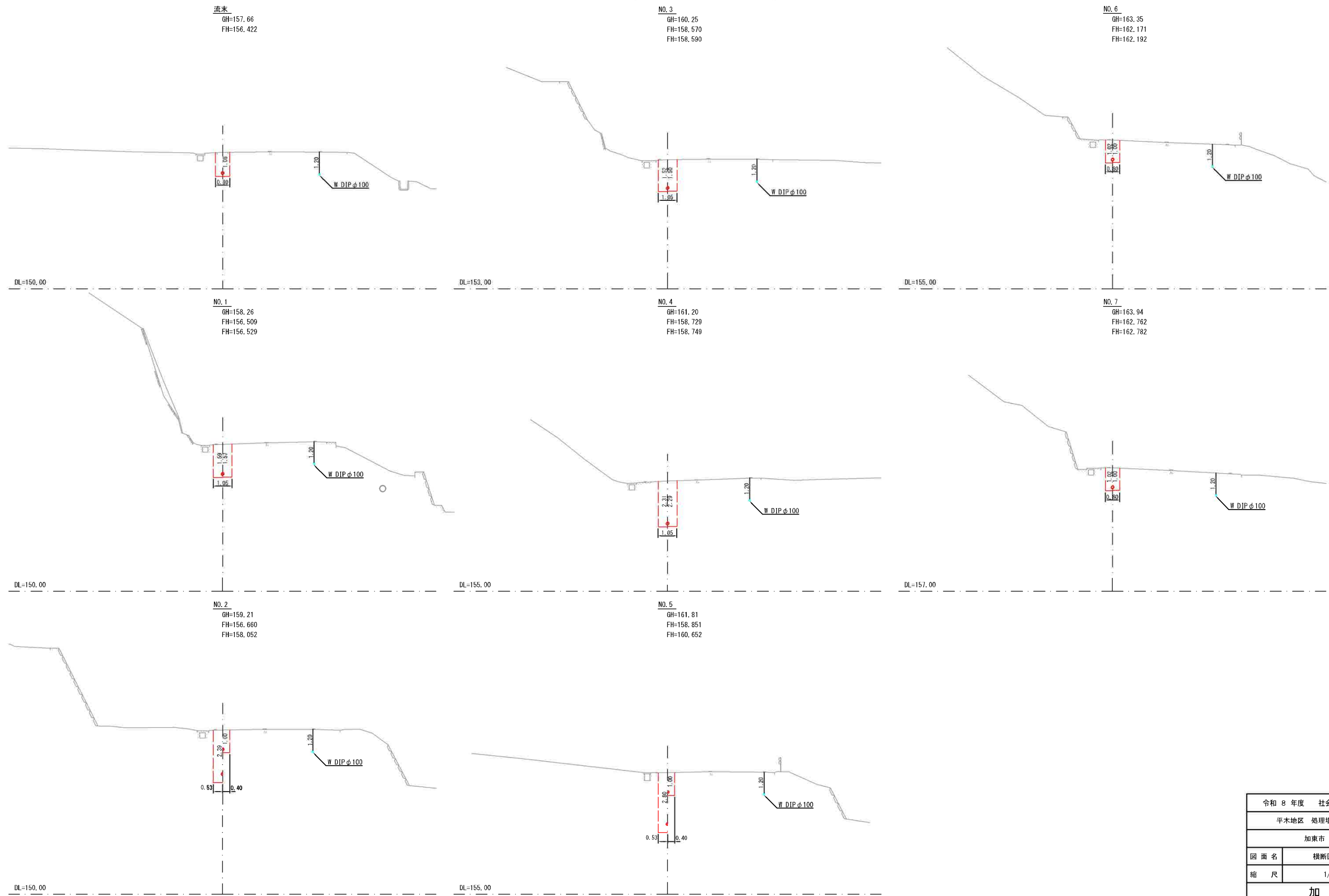
平面図 (3) S=1:500



縦断面図 (3) V=1:100
H=1:500

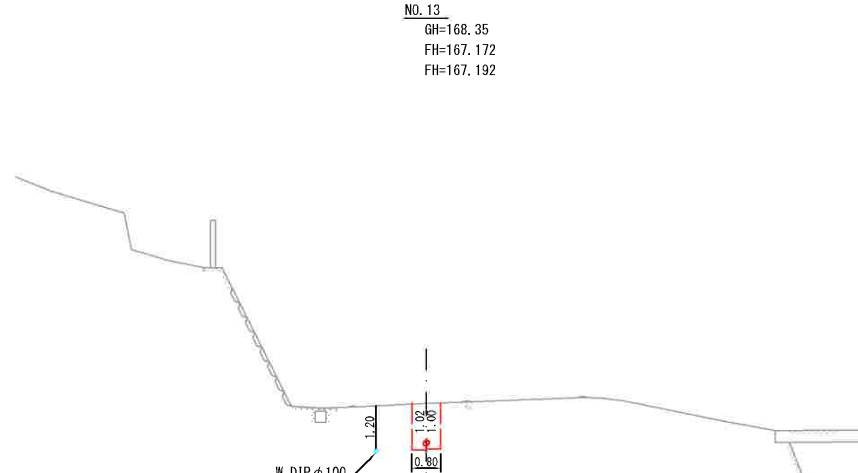
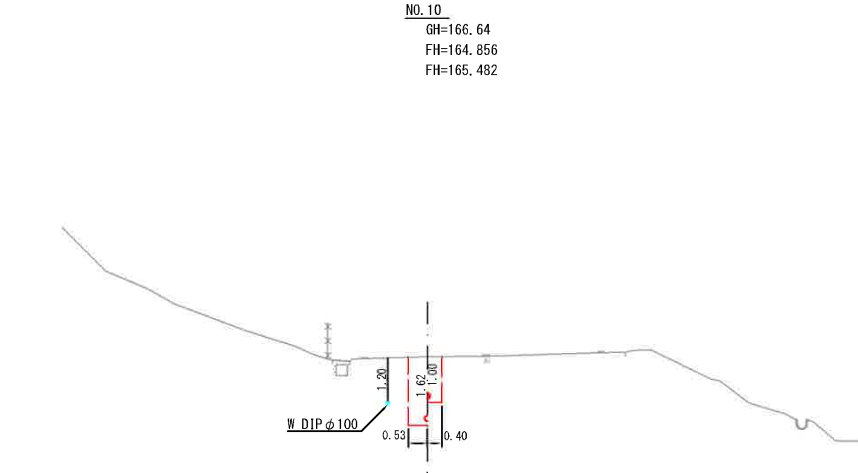
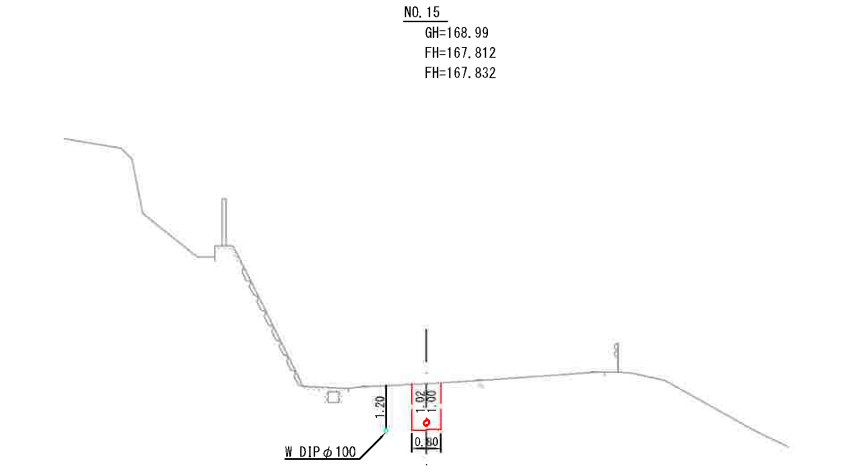
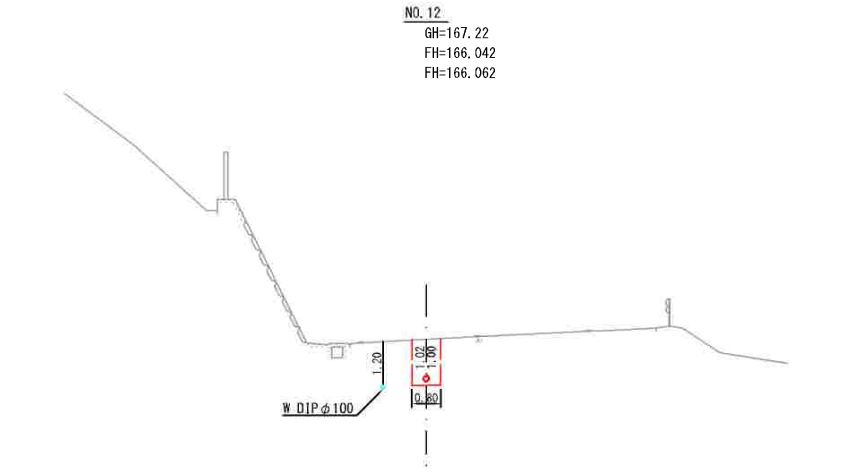
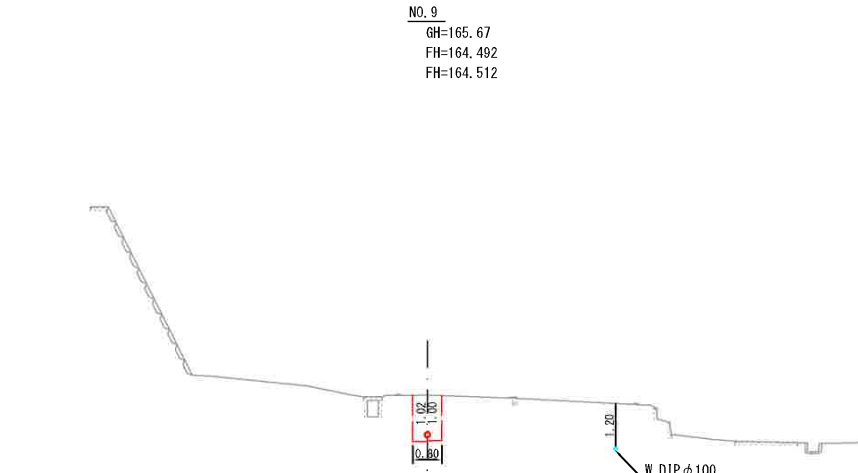
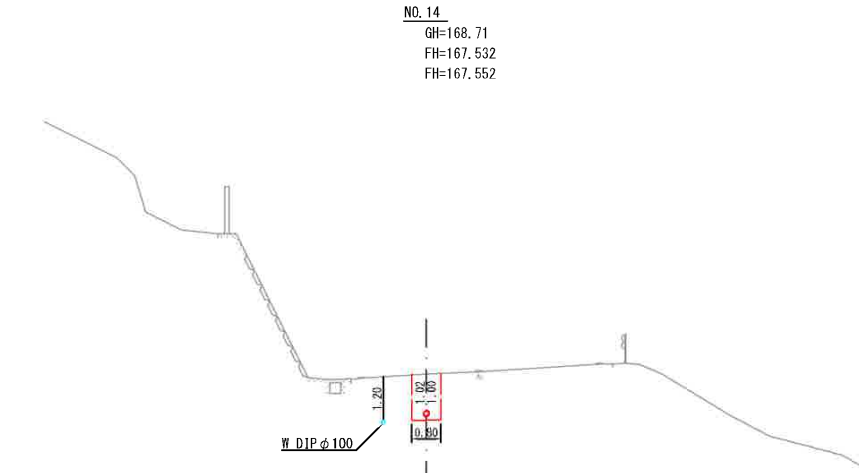
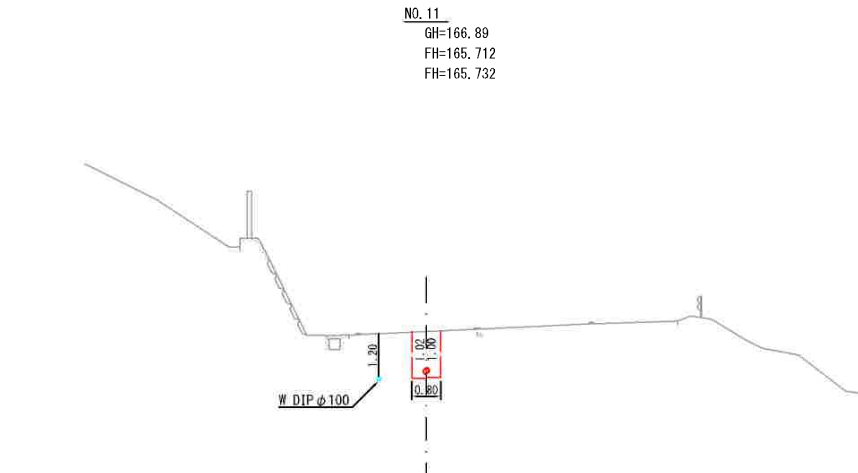
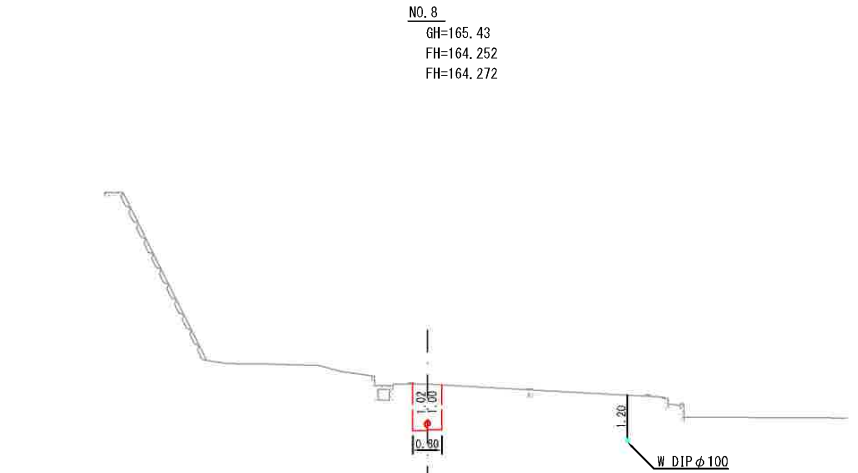


横断図 (1) S=1:100



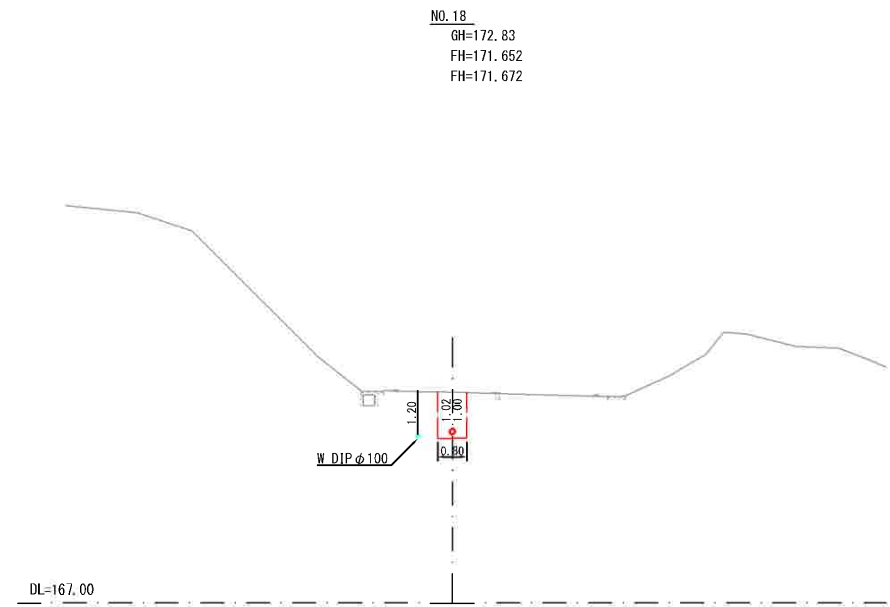
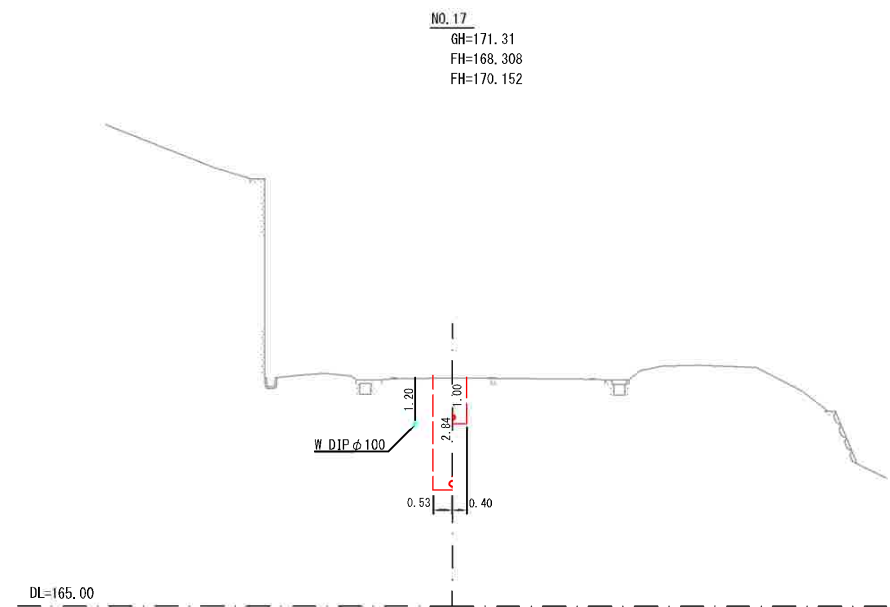
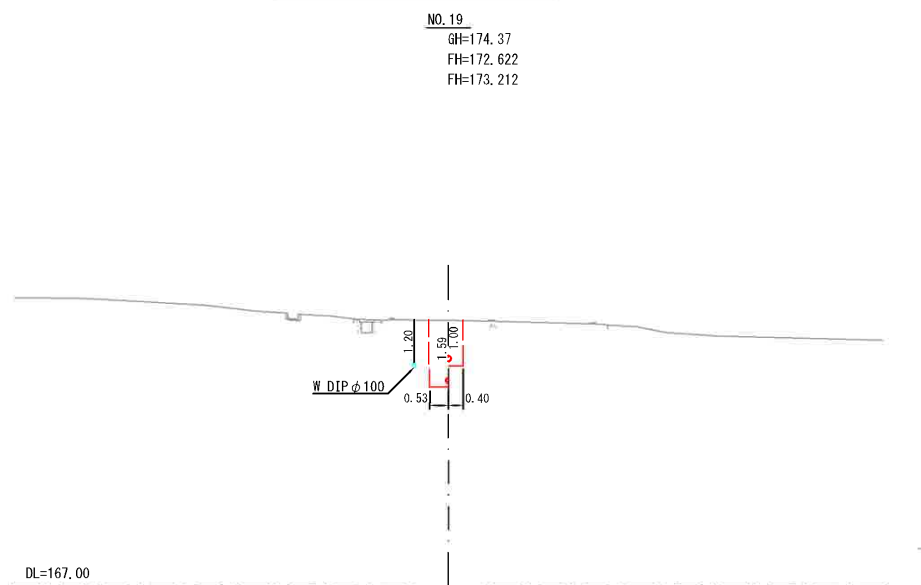
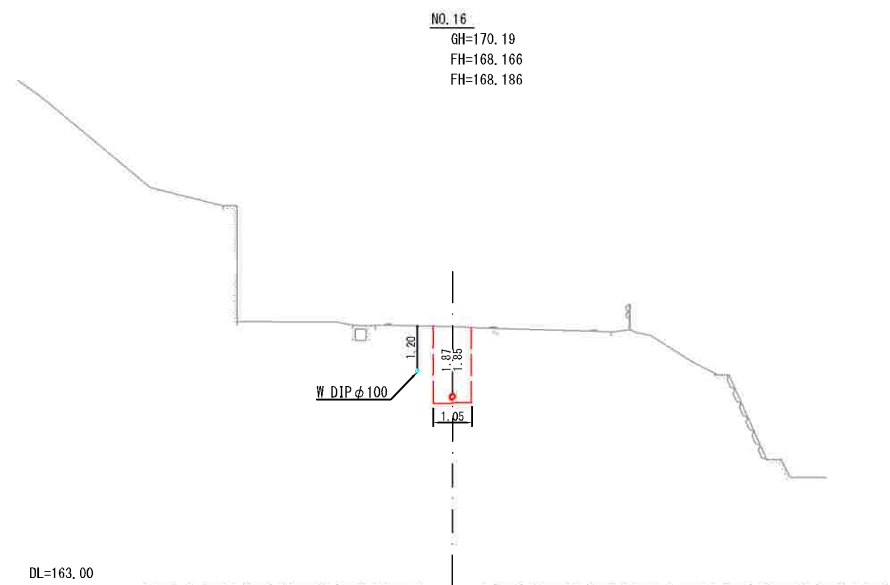
令和 8 年度 社会資本整備総合交付金事業		
平木地区 処理場統合整備工事 (1)		
加東市 平木 地内		
図面名	横断図 (1)	図面番号 5
縮尺	1/100	9
加東市		

横断図 (2) S=1:100



令和 8 年度 社会資本整備総合交付金事業		
平木地区 処理場統合整備工事 (1)		
加東市 平木 地内		
図面名	横断図 (2)	図面番号 6
縮尺	1/100	9
加東市		

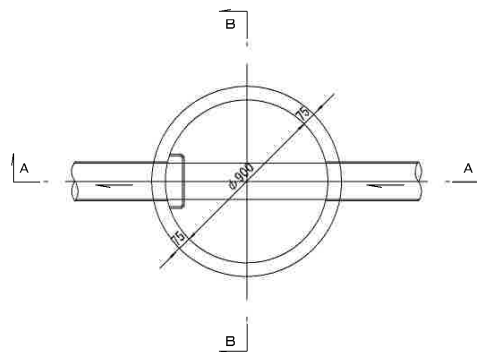
横断図 (3) S=1:100



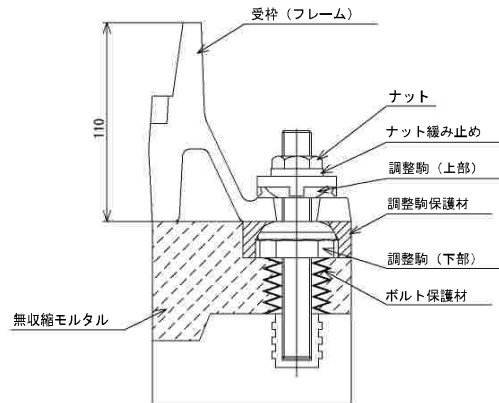
令和 8 年度 社会資本整備総合交付金事業		
平木地区 処理場統合整備工事 (1)		
加東市 平木 地内		
図面名	横断図 (3)	図面番号 7
縮尺	1/100	9
加 東 市		

1号組立マンホール標準図 S=図示

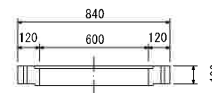
平面図 S=1:20



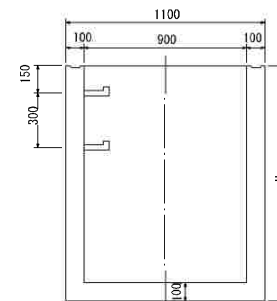
緊結部詳細図 S=1:2



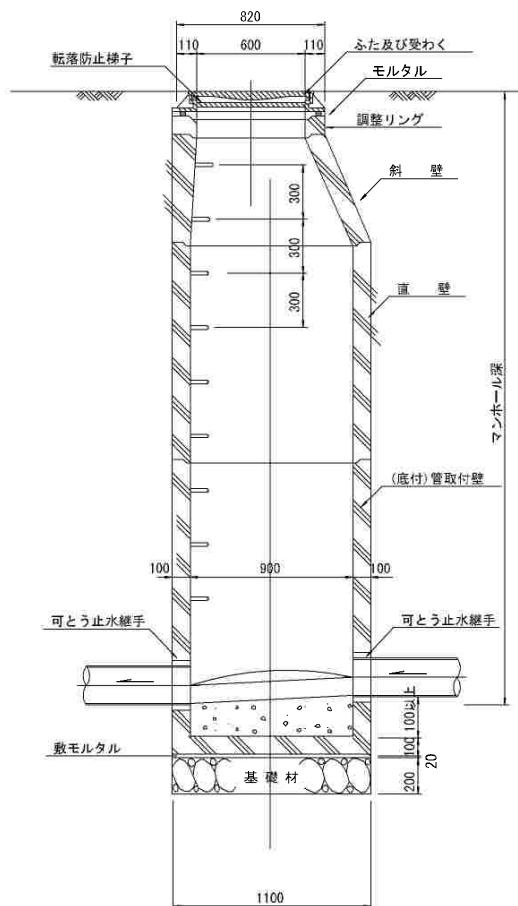
平面図 S=1:20



平面図 S=1:20

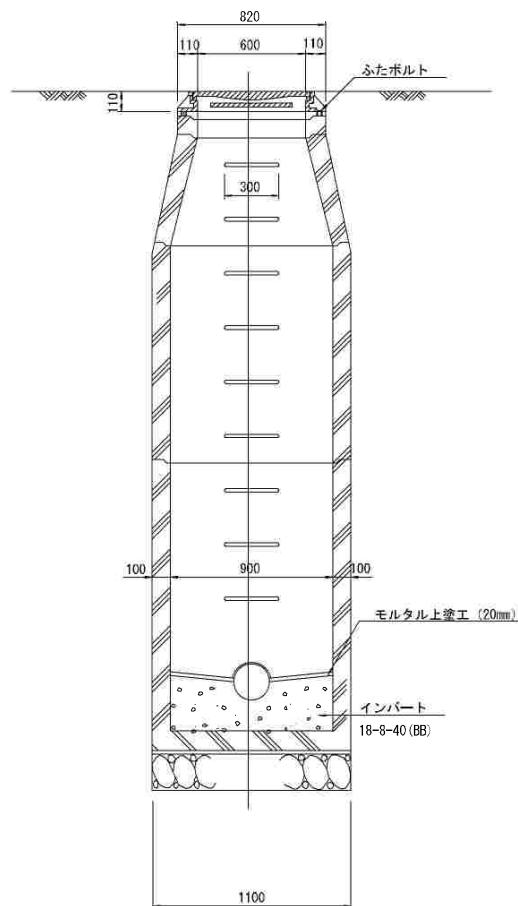


A-A断面 S=1:20

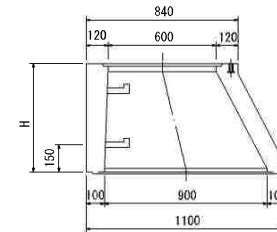


※ 鉄ふたには、転落防止梯子を設置すること。

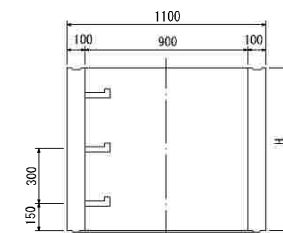
B-B断面 S=1:20



平面図 S=1:20



平面図 S=1:20



寸法表

種 類	H (mm)					
	50	80	100	150		
調整リング						
斜 壁	300	450	600			
直 壁	300	600	900	1200	1500	1800
底付 (管取付壁)	700	900	1000	1300	1600	1900

※鉄蓋の仕様については、加東市認定マンホール蓋 (市章入り) とする。

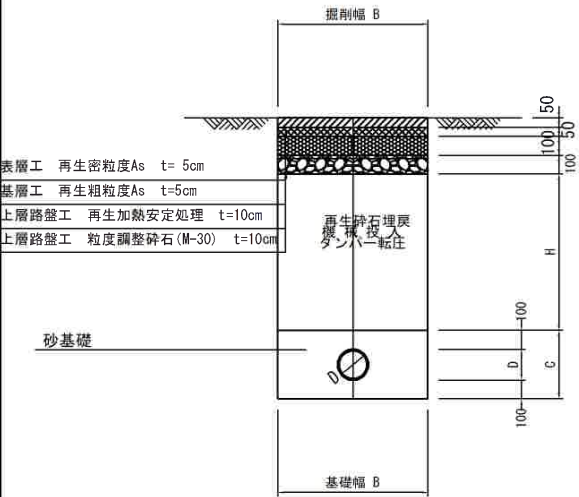
※当該図面は参考図扱いとする。

令和 8 年度 社会資本整備総合交付金事業			
平木地区 処理場統合整備工事 (1)			
加東市 平木 地内			
図 面 名	1号組立マンホール構造図	図面番号	
縮 尺	図示	8	9
加 東 市			

土工及び土留工標準図 S=1:20

土工標準断面図

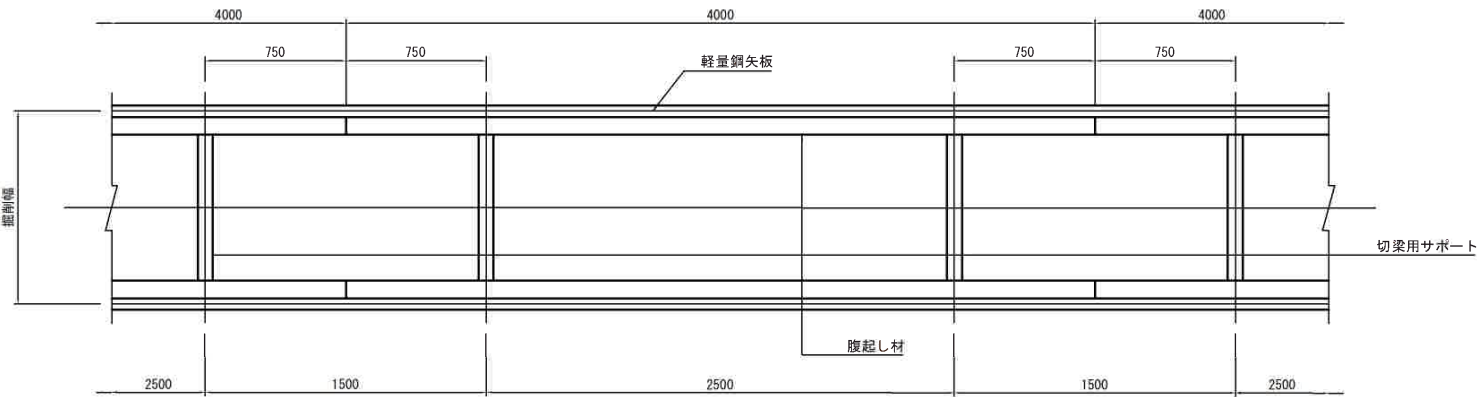
県道車道



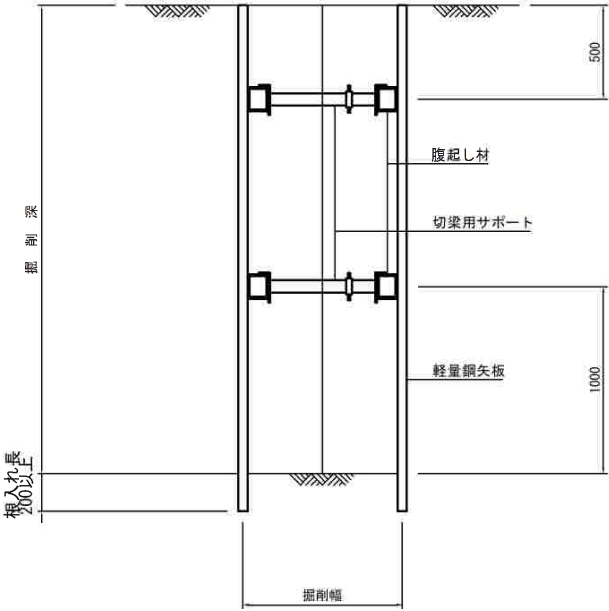
呼び径	管外径 D	基礎高 C	基礎幅 B		備 考
			1.5≧H 素掘	1.51<H≦3.00 軽量建込	
mm	mm	mm	m	m	
VU150	165	365	0.80	1.05	

軽量鋼矢板建込工標準構造図

平 面 図



断 面 図



軽量鋼矢板 長さ		
掘削深 1.80m以下	軽量鋼矢板	L=2.00m
掘削深 2.30m以下	軽量鋼矢板	L=2.50m
掘削深 2.80m以下	軽量鋼矢板	L=3.00m
掘削深 3.30m以下	軽量鋼矢板	L=3.50m

支保工 段数		
掘削深 2.00m以下	支保工	1段
掘削深 3.50m以下	支保工	2段